

Dell Display Manager Windows 用

バージョン 2.3

ユーザーズ ガイド





注意：「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。



注：「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

© 2022-2024 Dell Inc. またはその子会社。複製を禁ず。Dell Technologies、Dell、その他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標の所有権は各社にあります。

2024 - 01

Rev. A03

目次

概要	6
システム要件	6
DDM のダウンロードと設定	7
DDM のダウンロード	7
コンピューターにモニターを接続します	7
DDM を起動する前に	8
DDM の起動	9
Menu Launcher	9
メインメニュー	18
輝度とコントラストを調整する	20
輝度とコントラストのスケジュールの設定	21
輝度とコントラストの自動調整機能の設定	22
ショートカットキーの割り当て	24
複数のビデオ入力の管理	25
PIP/PBP モードの構成	26
ショートカットキーの割り当て	28
モニターのカラープリセットモードの設定	30
特定アプリケーション使用時の自動色替えプリセット	32
色の管理	34
カラープリセットに応じて ICC カラープロファイルを 自動調整	35



ICC プロファイルを変更した時にカラープリセットを 自動変更する.....	35
Windows で ICC/ICM プロファイルを変更する.....	35
モニターディスプレイ設定の調整	36
USB-C 優先順位	37
簡単アレンジで画面を整理する	38
レイアウト	38
レイアウトをカスタマイズ	39
簡単メモリ	43
設定.....	45
アプリケーション画面スナップの使用.....	47
ゲーミング設定	50
ドルビービジョン	52
USB KVM のセットアップ.....	53
USB KVM 設定を変更する.....	57
Network KVM の設定	61
Network KVM の使用	67
クラスタの概要	69
Network KVM の構成を設定する.....	75
オーディオ設定	78
パーソナライズ設定	79
Menu Launcher の構成を変更する	79
DDM 起動ホットキー設定を変更する	81
省エネ機能を適用する.....	82
モニター設定のリセット	83
アプリケーション設定のインポート/エクス ポート.....	84



追加設定	88
ヘルプ	90
問題を解決する	91
DDM の各状態について	91
DDM でサポートされていない Dell モニター	92
サポートされる Dell モニターを検出できない	92
Network KVM に接続できません	92
Network KVM が別のクラスタに切り替える	93
システムにインストールされたアプリケーション同士の 互換性	93
トラブルシューティングの詳細情報を入手するには	93
DDM の向上	95
DDM ソフトウェアとモニターのファームウェアの 更新	96
モニターのファームウェアの更新	97

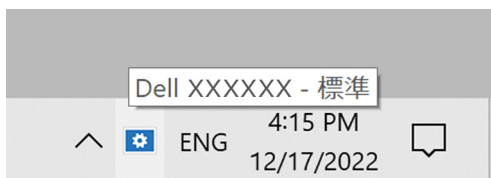


概要

Dell Display Manager (DDM) は、モニターやモニターグループを管理するための Windows アプリケーションです。

DDM は、対応する Dell 製モニターのモニター設定、電源設定の制御、異なる画面レイアウトでのアプリケーションの整理などの機能を提供します。


DDM をインストールすると、コンピューターを再起動するときに実行されません。システムタスクバーにクイックアクセスアイコンを用意し、DDM のアイコンにカーソルを合わせると、接続されているモニターの情報を確認することができます。




システム要件

DDM は次の x86 ベースの Windows に対応します：

- ・ Windows 10 build 17763 以降
- ・ Windows 11

 注：一部の機能はハードウェアに依存します。使用可能な機能については、モニターのユーザーガイドを参照してください。

 注：本書に記載されるスクリーンショットは参考のみを目的としていません。機能によっては、使用できないモニターもあります。



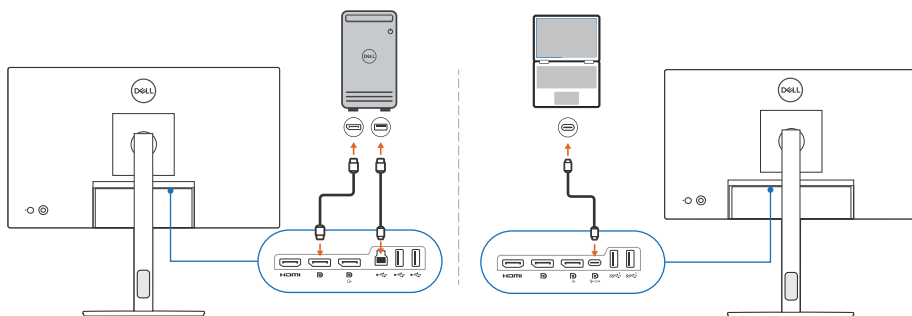
DDM のダウンロードと設定


DDM のダウンロード

1. モニターモデル名を参照するか、<https://www.dell.com/support> に入力します。
2. ダウンロードリストから DDM (Windows) をダウンロードし、パソコンにインストールします。
<https://www.dell.com/support/ddm> にアクセスして、ここからソフトウェアをダウンロードできます。Dell サポートウェブサイトがコンピューターの OS を検出し、Windows OS コンピューターから参照している場合は、Dell Display Manager ダウンロードリンクが表示されます。または、Windows OS をオペレーティングシステムのドロップダウンリストから選択することもできます。

コンピューターにモニターを接続します

1. モニターの使用説明書に記載されている手順で、モニターをコンピューターに接続します。




 注：接続図は参考のみを目的としています。完全な情報については、モニターのユーザーガイドを参照してください。



DDM を起動する前に

DDM を起動する前に、モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) で**その他**を選択し、**DDC/CI** 機能が**オン**に設定されていることを確認します。



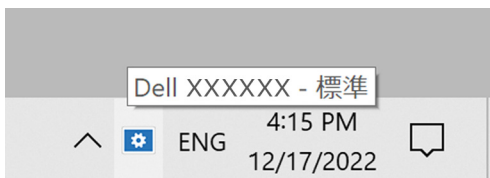
 注：DDC/CI 機能がオフになっていると、簡単アレンジしか有効になりません。



DDM の起動

Menu Launcher

システムタスクバーの DDM アイコンをクリックして、**Menu Launcher** ボックスを表示します。コンピューターに複数の Dell モニターが接続されている場合、ドロップダウンリストから任意のモニターを選択して、モニターの設定を制御することができます。また、プログラムメニューから Menu Launcher を開くこともできます。



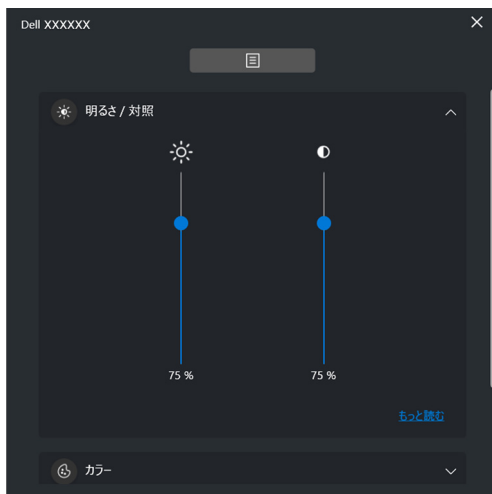
Menu Launcher ボックスは、以下のよく使う機能に素早くアクセスすることができます。


- ・ 明るさ / 対照
- ・ カラー
- ・ ディスプレイ
- ・ 簡単アレンジ
- ・ オーディオ
- ・ **KVM / Network KVM** (オプション)
- ・ **ゲーミング** (オプション)

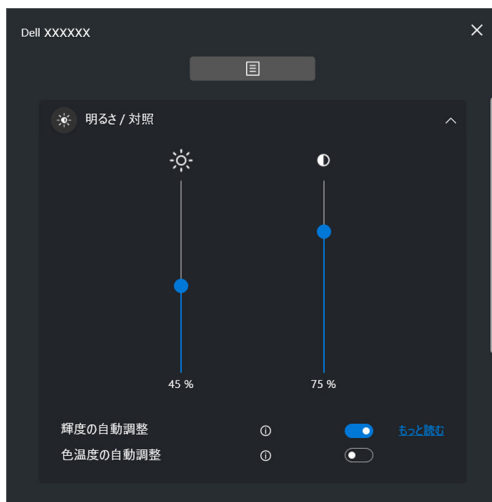



明るさ / 対照

選択した機種種の輝度とコントラスト（またはルミナンス）のレベルを調整できます。複数のモニターを使用している場合は、ドロップダウンリストからモニターを選択するか、ダイアログを調整したいモニターに移動します。



 注：スクリーン上の可視性を保証するために、コントラストの最低値が25%に設定されています。

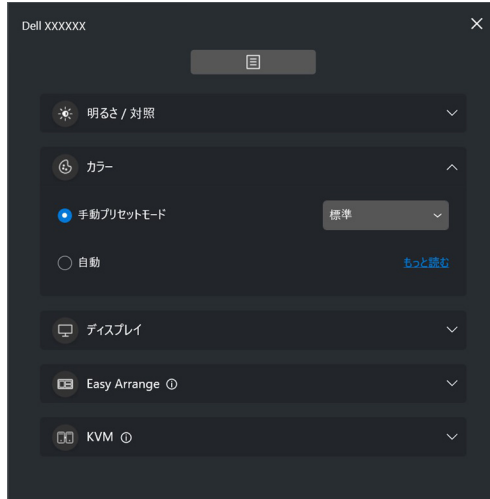



 注：自動調整機能は、環境照明センサーが搭載されているモニターに付いています。



色

画面上でユーザーの好みに合わせてカラープリセットを変更することができます。詳しい設定を行うには、**もっと読む**をクリックします。

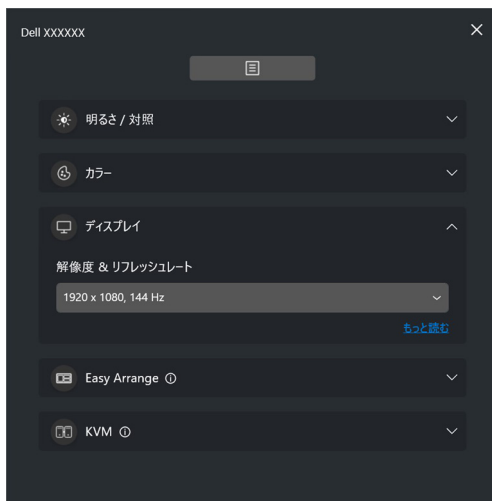


 注：詳細については、**特定アプリケーション使用時の自動色替えプリセット**を参照してください。



ディスプレイ

選択したモニターの解像度とリフレッシュレートを調整できます。詳しい設定を行うには、**もっと読む**をクリックします。



簡単アレンジ

推奨リストまたは最近使用したレイアウトと簡単メモリのプロファイルが、次の画像に表示するとおり、クイック選択肢として表示されます。カスタムレイアウト機能は、現在の画面配置をカスタムレイアウトとして保存します。



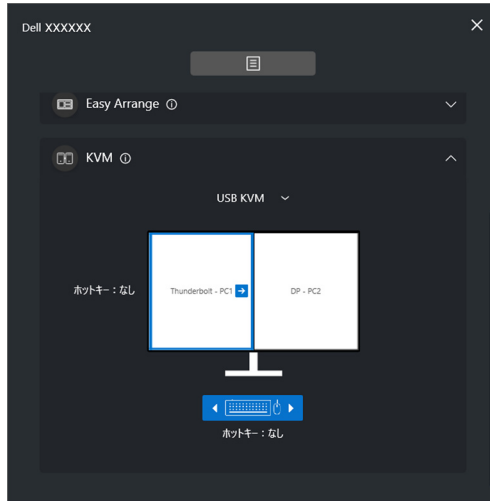
オーディオ

オーディオプロファイルに対応するモニターでは、オーディオタブから好きなプロファイルを選択することができます。



KVM

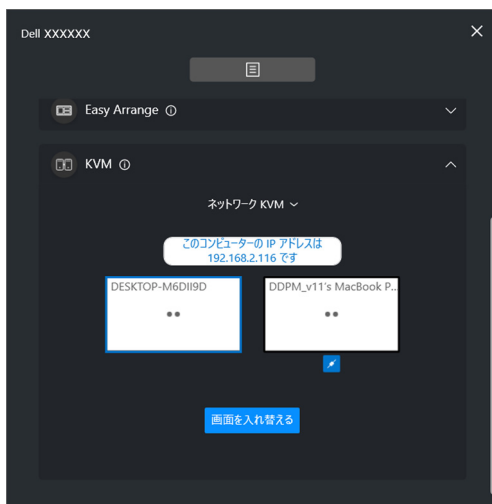
KVM の設定後、コンピューター間でキーボードとマウスを切り替えて使用することができます。セットアップウィザードの使い方は、[USB KVM のセットアップ](#)をお読みください。



Network KVM

KVM タブを開き、ドロップダウンメニューから **Network KVM** を選択してください。このメニューでは、現在の Network KVM の状態に応じてクイックアクセス機能を使用することができます。セットアップウィザードの使い方は、[Network KVM の設定](#)セクションをお読みください。



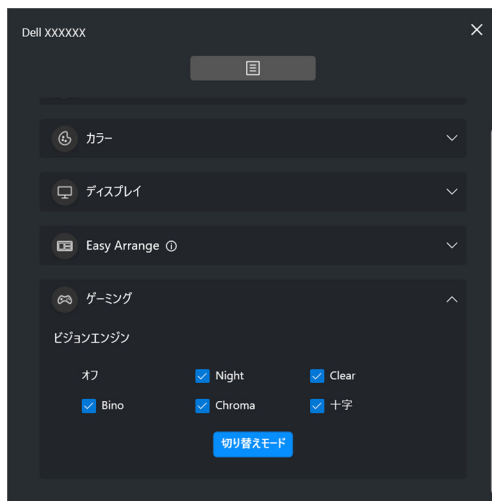


特長	機能	説明
設定なし	今すぐ設定	今すぐ設定をクリックすると、 Network KVM 設定画面が開きます。
単独ディスプレイ	PC を切り替え	PBP がオフの状態のとき、 PC を切り替え をクリックするとコンピューターと別のコンピューターでビデオ入力を切り替えることができます。
	画面を入れ替える	<p>PBP がオンのとき、次のいずれかの方法でビデオ入力を入れ替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターブロックにカーソルを合わせて、表示された矢印をクリックします。 ・ 1 個のモニターブロックを別のモニターブロックにドラッグ・アンド・ドロップします。
複数のディスプレイ	画面を入れ替える	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターブロックにカーソルを合わせて、表示された矢印をクリックします。 ・ コンピューターのアイコンをドラッグして、水平位置に調整します。



ゲーミング

ビジョンエンジン対応モニターでは、**ゲーミング機能**から**ビジョンエンジンモード**の選択切り替えが可能です。



特長	機能	説明
DDM へのクイックアクセス	Menu Launcherボックスを起動するショートカットキー	<ul style="list-style-type: none">ホットキーを組み合わせることで（例：Alt+M）Menu Launcherを起動します。ホットキーをカスタマイズするには、パーソナライズを選択します。
	複数のモニターを接続している場合は、モニターを選択するか、コントロールしたいモニターにUIをドラッグします	<ul style="list-style-type: none">複数のモニターが接続されている場合は、ドロップダウンリストからモニターを選択するか、UIを制御したいモニターにドラッグしてください。モニターを選択すると、それぞれのモニター画面に機種名の入ったモニターアイコンが表示され、選択されたモニターであることが示されます。Alt+Mを押して、マウスカーソルを置いているモニターにMenu Launcherを表示します。複数のモニターが接続されている場合は、マウスのカーソルがある選択したモニターに対して設定したホットキーを押します。



メインメニュー

以下のいずれかの方法で、DDM を起動します。

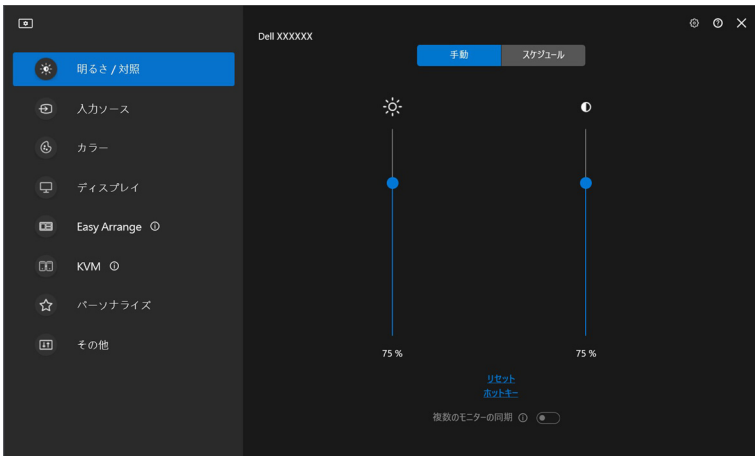
- ・ システムタスクバーで、**DDM アイコン**を右クリックし、**Dell Display Manager を開く**を選択します。



- ・ **Menu Launcher** のメニューアイコンをクリックすると、メインメニューが開きます。

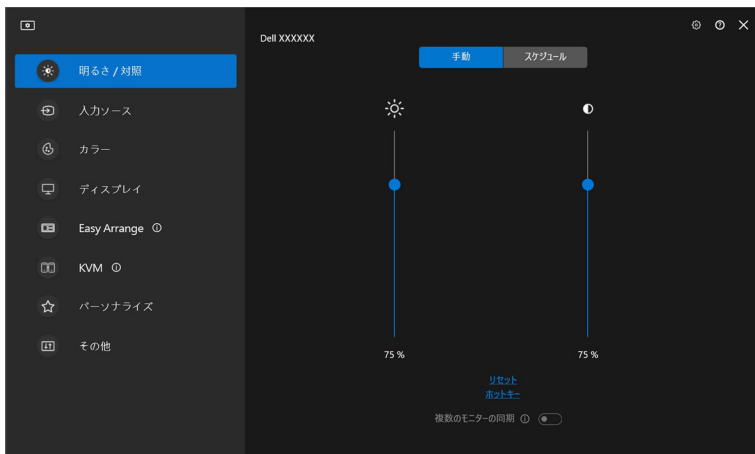


DDM の機能を調整するためのメニューとサブメニューのセットを提供します。



輝度とコントラストを調整する

DDM のメニューで、明るさ / 対照を選択し、輝度とコントラストのレベルを変更します。



特長	機能	説明
明るさ / 対照	手動	モニターの輝度、コントラストを手動で調整します。
	スケジュール	構成した日 / 夜のプロファイルに応じて、輝度とコントラストを徐々に調整します。
	自動	<ul style="list-style-type: none">・ 相当するオプションが有効になっているとき、モニターの環境照明センサーによって輝度または色温度を自動的に調整します。・ プライマリモニターを1台指定して、他のモニターに輝度または色温度を同期させることができます。
	ホットキー	輝度とコントラストを調整するために、ショートカットキーを割り当てます。
	複数のモニターの同期	この機能を有効にすると、接続されているモニターに、輝度、コントラスト、カラーのプリセット設定が適用されます。

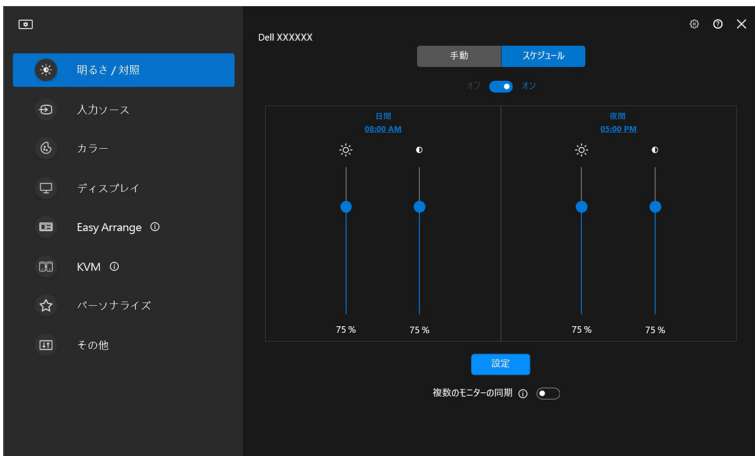


- 注：モニター設定の同期は、同じ輝度 / コントラストを持つ 2 台以上のモニターが接続されている場合にのみ使用できます。
- 注：スクリーン上の可視性を保証するために、コントラストの最低値が 25% に設定されています。
- 注：スマート HDR またはドルビービジョンが有効であり、HDR コンテンツが表示されている場合は、明るさと対照、輝度の自動調整、色温度の自動調整機能は無効になります。

輝度とコントラストのスケジュールの設定


スケジュールタブを選択すると、構成した日 / 夜のプロファイルに応じて、輝度とコントラストの設定スケジュールを指定できます。

1. 明るさ / 対照メニューからスケジュールタブを選択します。スライダーを上下に動かして、輝度とコントラストのレベルを調整します。デフォルトのプロファイル値は、モニターの現在の設定に基づきます。プロファイルのタイミングを設定したり、プロファイルのトランジション効果をプレビューしたりするには、設定ボタンを押します。

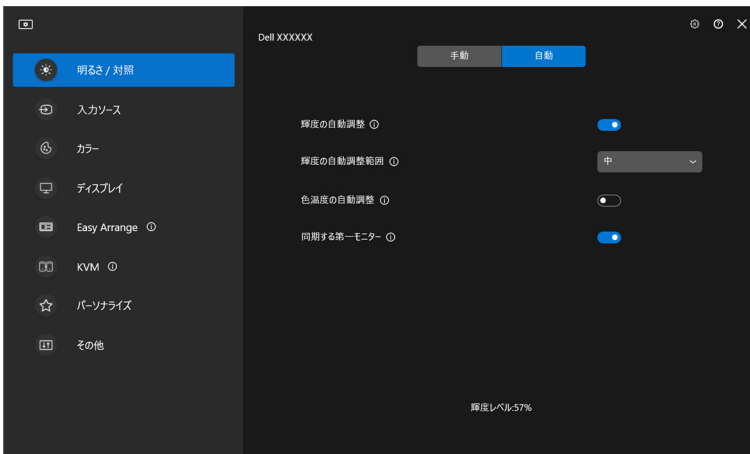


2. 日間と夜間の開始時間と長さを調整します。閉めるをクリックして、メニューを保存して終了します。




 注：環境照明センサーが搭載されていないモニターには、スケジュール機能が付いています。

輝度とコントラストの自動調整機能の設定



特長	機能	説明
自動	輝度の自動調整	輝度の自動調整を有効にすると、環境の照明に応じてモニターの輝度設定が自動的に調整されます。
	輝度の自動調整範囲	輝度の自動調整が有効のとき、輝度の自動調整の輝度の自動調整範囲が調整されます。 注：輝度の自動調整が無効になっている場合は、この機能も使用できません。
	色温度の自動調整	色温度の自動調整を有効にすると、環境の照明に応じてモニターの RGB カラー設定が自動的に調整されます。
	同期するプライマリモニター	この機能に対応する複数の Dell モニターが接続されており、プライマリモニターが検出した環境照明に応じて他のモニターにそれらの輝度と RGB 設定を調整させるには、同期するプライマリモニターを有効にします。 注：輝度の自動調整と色温度の自動調整が両方とも無効の場合は、同期するプライマリモニターも使用できません。

 注：自動調整機能は、環境照明センサーが搭載されているモニターに付いています。



ショートカットキーの割り当て

明るさ / 対照メニューでホットキーをクリックして、輝度とコントラストを調整するためのショートカットキーを割り当てます。



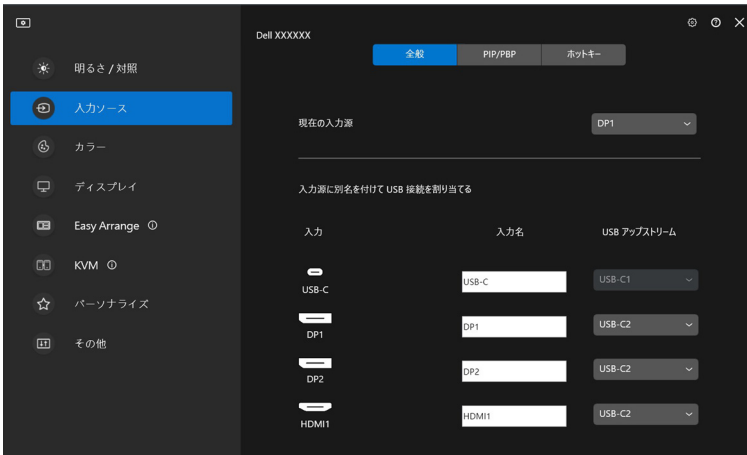
複数のモニターが接続されている場合は、設定したホットキーが接続したすべてのモニターで同期されます。輝度 / コントラスト、ルミナンスの調整を実行するには、ターゲットのモニターでマウスを動かします。




複数のビデオ入力の管理

入力ソースメニューでは、Dell のモニターに接続されている複数のビデオ入力を管理できます。複数のコンピューターで作業をする場合、簡単に入力を切り替えることができます。

全般の下に、お使いのモニターで利用可能なすべてのビデオ入力ポートが表示されます。各入力には、名前と USB アップストリームポートを割り当てることができます。

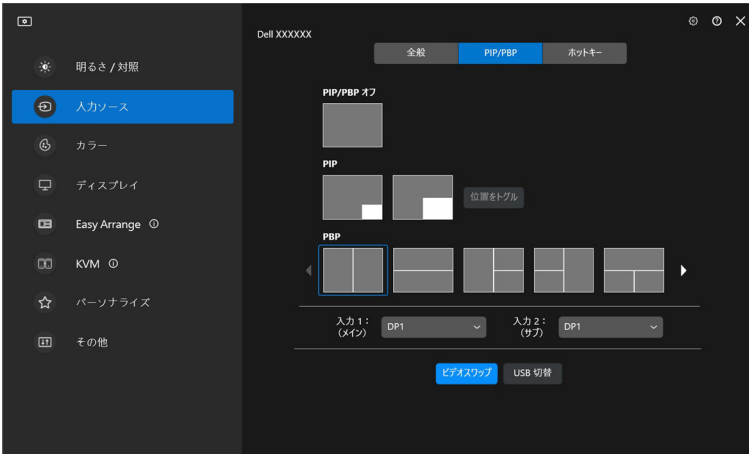


 注：詳しくは、お使いのモニターのユーザーガイドで、使用可能な入力をご確認ください。

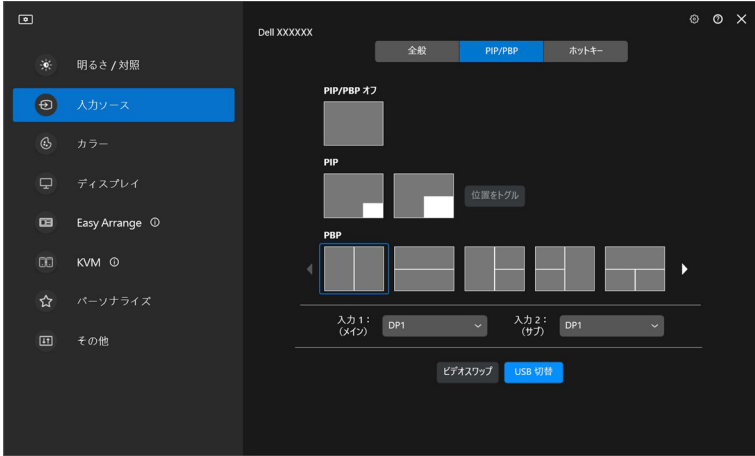



PIP/PBP モードの構成

1. PIP/PBP をクリックすると、対応機種で分割画面機能が有効になります。
2. 位置をトグルをクリックすると、PIP の位置が変わります。
3. 入力 1 のドロップダウンリストからメイン入力を選択し、次に入力 2 のドロップダウンリストからサブ入力を選択して、メインまたはサブ入力を変更します。
4. USB 切替をクリックすると、アクティブな入力ソースに関連する USB アップストリーム ポートが切り替わります。



5. ビデオスワップをクリックすると、入力ソースが入れ替わります。

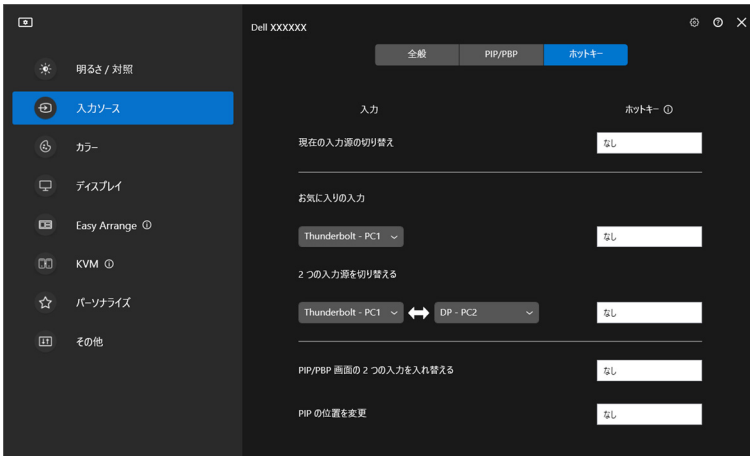


 注：使用できる PIP/PBP 機能については、モニターの使用説明書を参照してください。

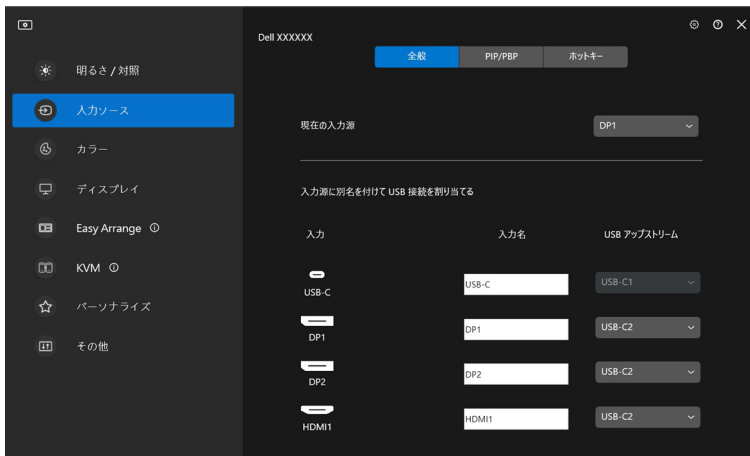


ショートカットキーの割り当て


入カソースの機能に素早くアクセスするためのショートカットキーを割り当てるができます。




または、**現在の入力源**ドロップダウン リストから入力源を切り替えることもできます。



特長	機能	説明
ホットキー	現在の入力源の切り替え	ホットキーを組み合わせる（例： Alt+C ）入力源を切り替えます。
	お気に入りの入力	好きな入力源に切り替えられるように、ホットキーを構成します。
	2つの入力源を切り替える	ホットキーを組み合わせる（例： Alt+I ）2つの頻繁に使用する入力源を切り替えます。
	PIP/PBP画面の2つの入力を入れ替えます	ホットキーを組み合わせる（例： Alt+W ）PIP/PBPのメイン入力とサブ入力を入れ替えます。
	PBP 4画面のズームイン/ズームアウト	ホットキーを組み合わせる（例： Alt+Z ）PBP画面にズームイン/アウトします。
	PIPの位置を変更	ホットキーを組み合わせる（例： Alt+Q ）PIPの位置を変更します。
	アンダースキャン	<p>ホットキーを組み合わせる（例：Alt+A）アンダースキャンを有効または無効にします。</p> <p>注：アンダースキャン機能は、以下の機種のみ対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell U4320Q • Dell U4323QE

 **注：**使用できる PIP/PBP 機能については、モニターの使用説明書を参照してください。

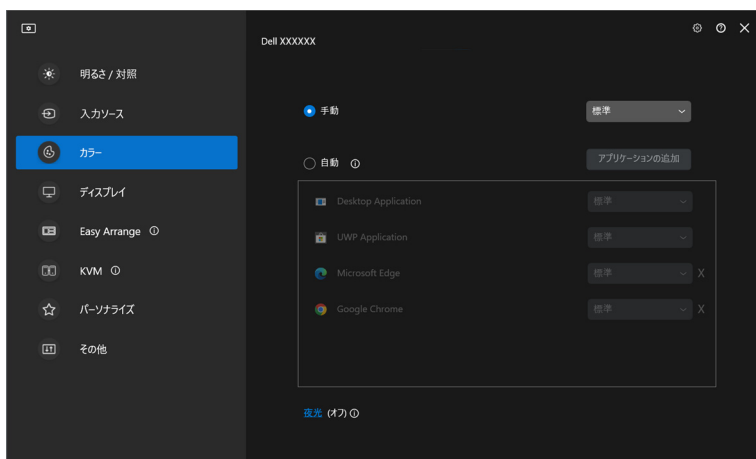
 **注：**複数のモニターが接続されている場合は、簡単に使用できるように、設定したホットキーが複数のモニター間で同期されます。選択したモニターに対して機能を実行するには、マウスをそのモニターに動かしてホットキーを押します。



モニターのカラープリセットモードの設定

カラーメニューでは、カラープリセットモードをアプリケーションと関連付けることができます。自動モードを選択すると、関連するアプリケーションを起動するたびに、DDMが対応するカラープリセットモードに自動的に切り替わります。アプリケーションに割り当てられたカラープリセットモードは、接続された各モニターで同じである場合もあれば、モニターごとに異なる場合もあります。

新しいアプリケーションを割り当てリストに追加するには、アプリケーションの追加をクリックしてアプリケーションを選択するか、Windowsプログラム/デスクトップからドラッグして現在のリストにドロップします。プリセットをアプリケーションに関連付けるために、各アプリケーションのドロップダウンリストでカラープリセットモードを選択します。

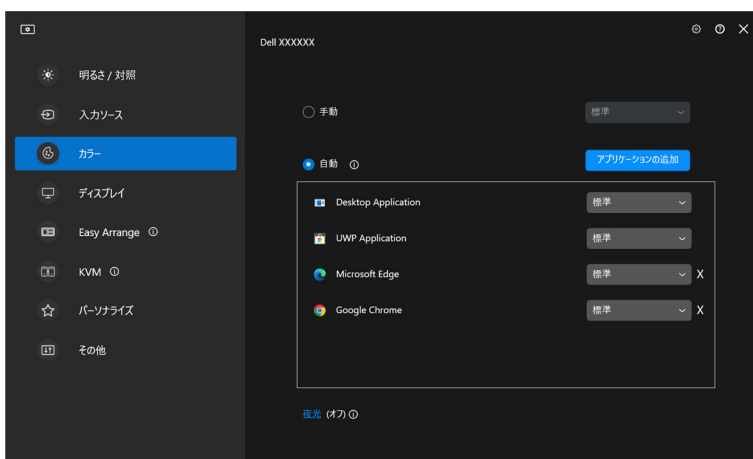


特長	機能	説明
カラー	手動	ユーザーインターフェースから手動でカラープリセットモードを選択します。
	自動	<ul style="list-style-type: none"> この機能を有効にすると、関連するアプリケーションがアクティブウィンドウとして選択されたときに、自動的にカラープリセットモードが有効になります。 ドロップダウンリストをクリックすると、アプリケーションにプリセットモードを割り当てることができます。
	夜光	夜光設定を変更します。

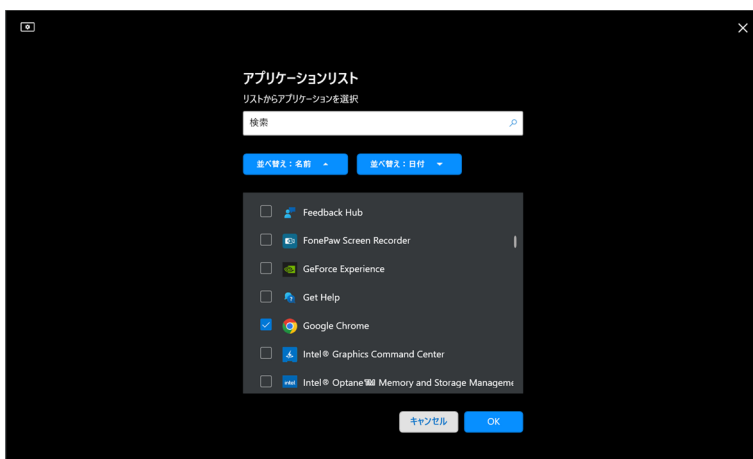


特定アプリケーション使用時の自動色替えプリセット

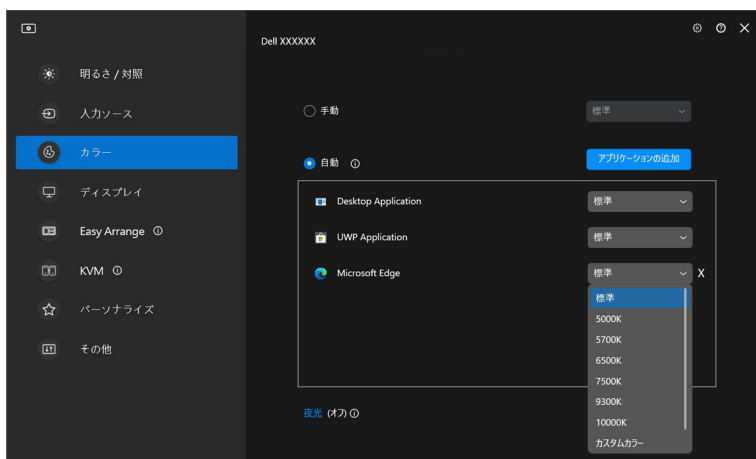
1. 自動を選択します。
2. アプリケーションの追加をクリックします。



3. 使用したいアプリケーションを選択し、OK をクリックします。



4. アプリケーションを使用する際に、希望のカラープリセットを選択します。



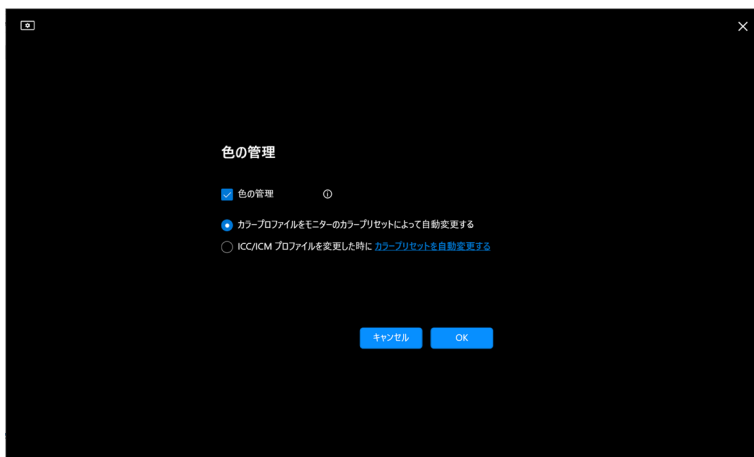
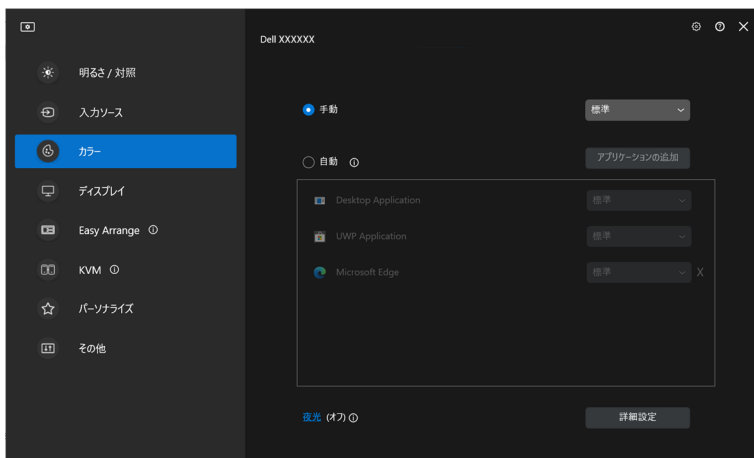
- 注：** バッチファイル、スクリプト、ショートカット、ZIP アーカイブやパックファイルなどの非実行ファイルに対するカラープリセットモードの割り当てはサポートされていません。



色の管理

モニターの色空間と ICC (International Color Consortium) プロファイルをマッチングさせ、最適なカラー体験を提供する機能です。

対応する Dell モニターでは、**カラーメニューの詳細設定ボタンを押すと色の管理オプションが使用できるようになります。カラープリセットに応じて ICC カラープロファイルを自動調整または ICC プロファイルを変更した時にカラープリセットを自動変更する**を選択できます。




カラープリセットに応じて ICC カラープロファイルを自動調整

モニターの OSD メニューからカラープリセットを変更した場合、Windows で相当する ICC プロファイルが変更されます。

ICC プロファイルを変更した時にカラープリセットを自動変更する

Windows で ICC プロファイルを変更すると、対応するカラープリセットがモニターに設定されます。ICC プロファイルのリンクをクリックすると、モニターにインストールされているカラープロファイルを追加することができます。

 **注：**ディスプレイが外部モニターにのみ表示に設定されている場合は、現時点ではこの機能はサポートされていません。

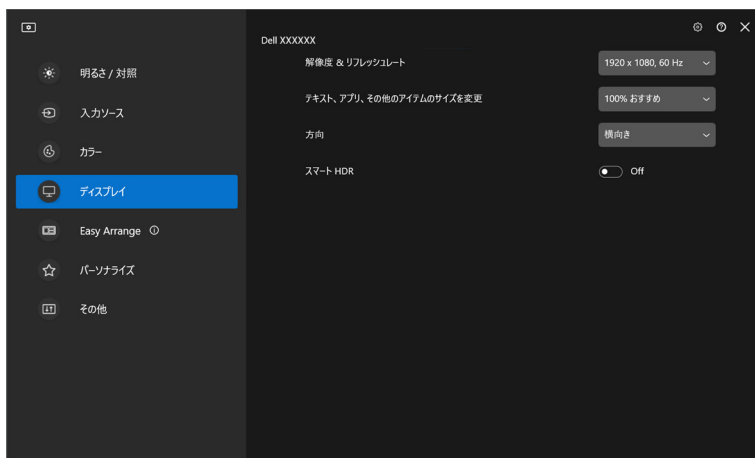
Windows で ICC/ICM プロファイルを変更する

ディスプレイ設定のカラープロファイルドロップダウンリストからカラープロファイルを選択します。




モニターディスプレイ設定の調整

DDM メニューでディスプレイを選択して、モニターの汎用設定を変更します。



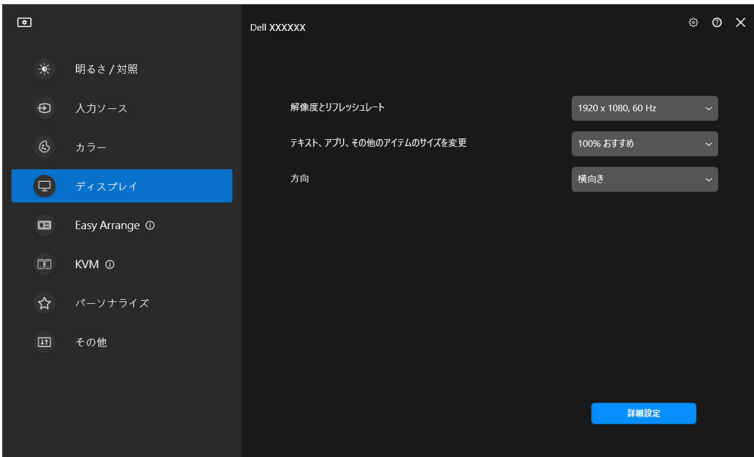
特長	機能	説明
ディスプレイ	解像度 & リフレッシュレート	ディスプレイ設定の解像度とリフレッシュレートを調整します。
	テキスト、アプリ、その他のアイテムのサイズを変更	ユーザーインターフェイスのコンポーネントを上または下にスケール化します。
	方向	モニターディスプレイの操作方向を変更します。 注： DDM から方向を変更できるモニターでは、モニターの OSD の方向設定が変わります。
	スマート HDR	モニターの HDR とディスプレイ設定のオンとオフを切り替えます。


 **注：** スマート HDR 機能は、この機能に対応するモニターでしかご使用いただけません。



USB-C 優先順位

ディスプレイメニューから**詳細設定**を選択すると、**USB-C 優先順位**オプションを設定できます。



 **注: USB-C 優先順位は、この機能に対応するモニターでしか設定できません。**



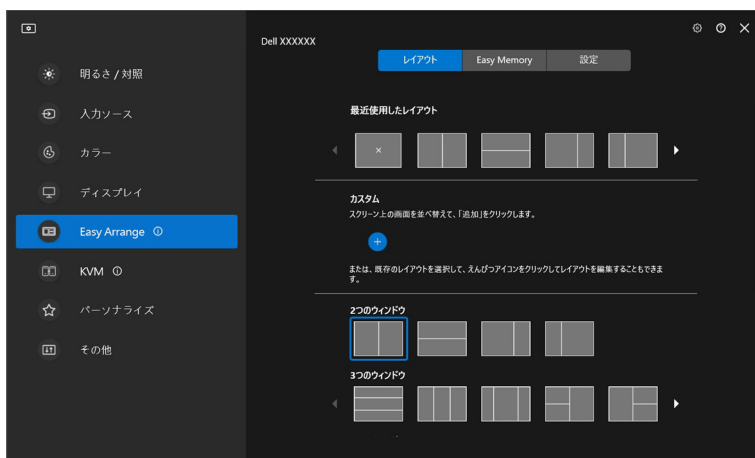
簡単アレンジで画面を整理する

簡単アレンジメニューでは、アプリケーションがモニターで表示される方法が簡易になります。

レイアウト

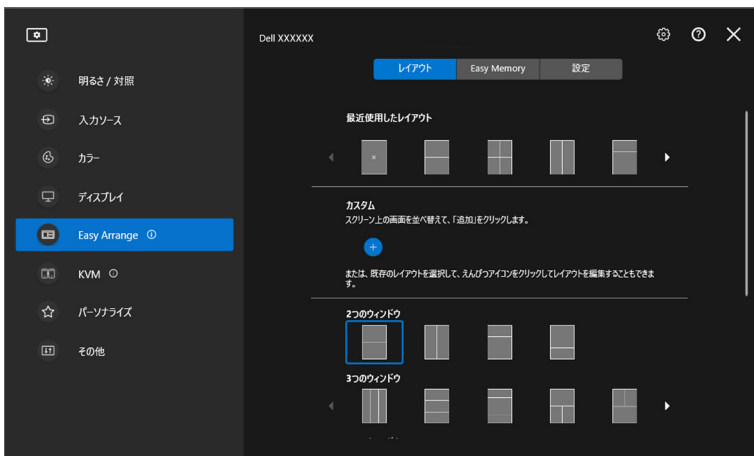
以下の手順で、ウィンドウを整理します。

1. あらかじめ定義されたレイアウトの1つを選択し、スクリーンを複数のゾーンに仮想的に分割します。
2. それを選択したゾーンにドラッグして配置します。アプリケーションは選択されたゾーンにスナップします。



簡単アレンジレイアウトの横置きモード



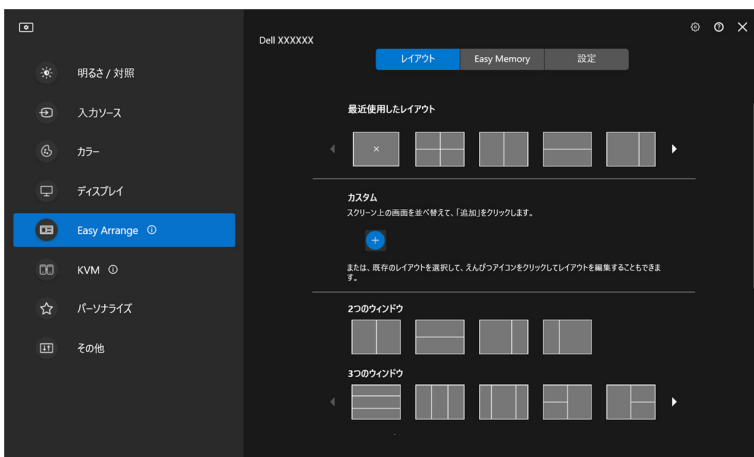


モニターを回転させると、**簡単アレンジ**レイアウトのポートレートモードが表示されます

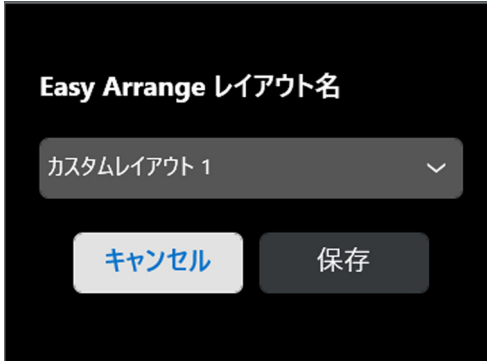
レイアウトをカスタマイズ

新しいカスタマイズレイアウトを環境設定に追加できます。新しくカスタマイズしたレイアウトを追加するには、次の手順に従ってください：

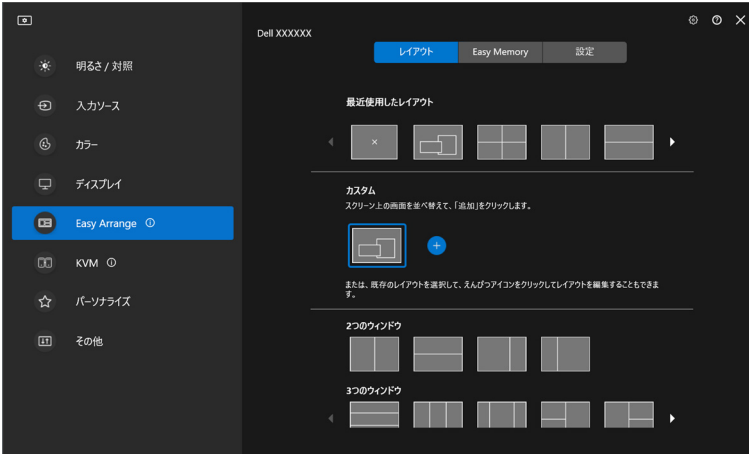
1. スクリーンの画面を並べ替えて、**+** アイコンをクリックします。画面の配置に応じて、レイアウトが設定されます。



2. 保存ダイアログで新しいレイアウトの名前を選択します。

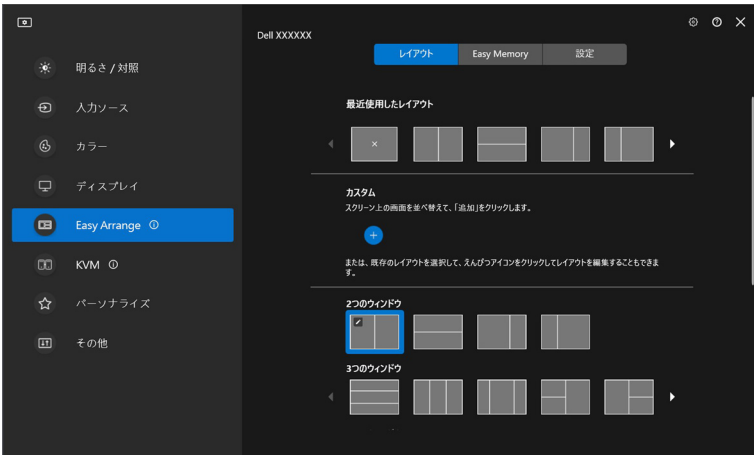


3. 保存をクリックすると、カスタマイズが完了します。

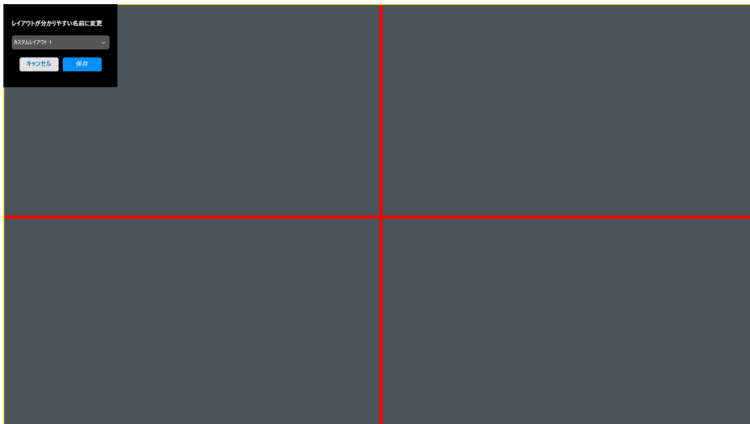


既存のレイアウトを環境設定で編集できます。既存のレイアウトをカスタマイズするには、次の手順に従ってください。

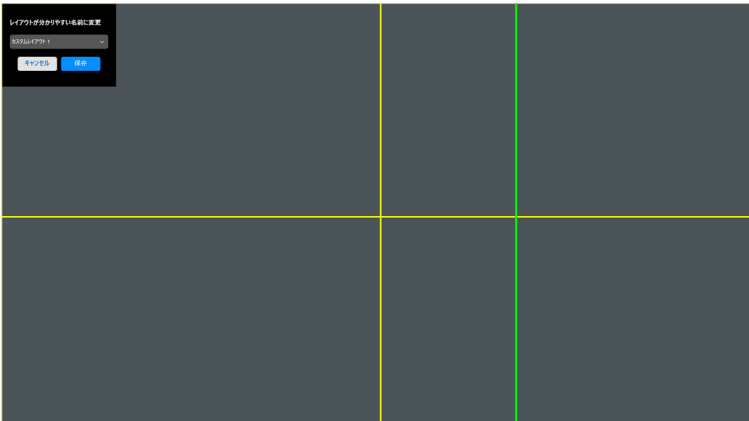
1. マウスのカーソルをカスタマイズするレイアウトの上に置き、ペンのアイコンをクリックします。



2. 画面に赤いグリッド線と共にレイアウトが表示されます。赤いグリッド線を押すと、レイアウトを調整できます。



- レイアウトサイズを調整するために線をドラッグすると、赤いグリッド線が緑色の線に変わります。完了したら線を放してください。



- 保存ダイアログで新しいレイアウトの名前を選択します。



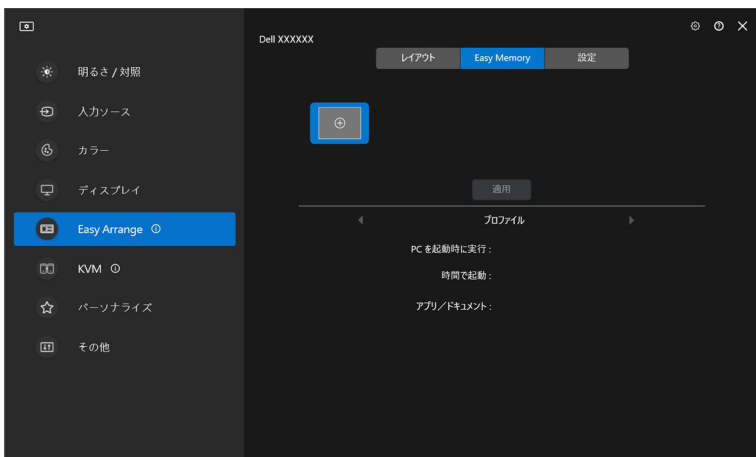
- 保存をクリックすると、カスタマイズが完了します。



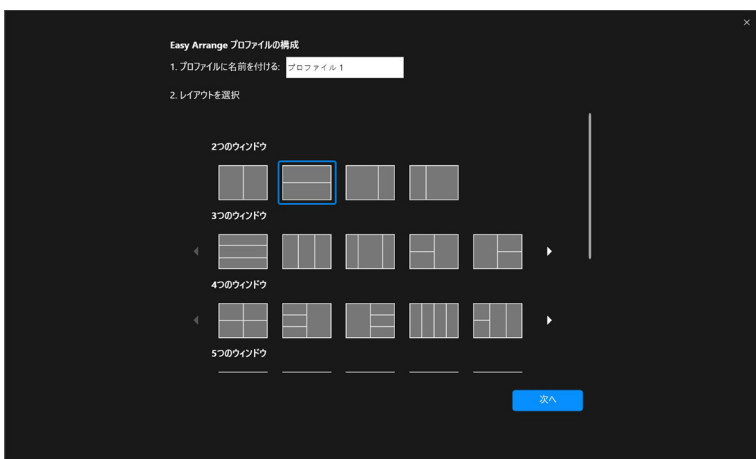
簡単メモリ

簡単メモリはアプリケーションやファイルをプロファイルに応じてそれぞれのパーティションに保存し、予定した時間が、システムを起動したときに、それらを手動で復元できます。次の手順に従って、プロファイルを作成して起動します。

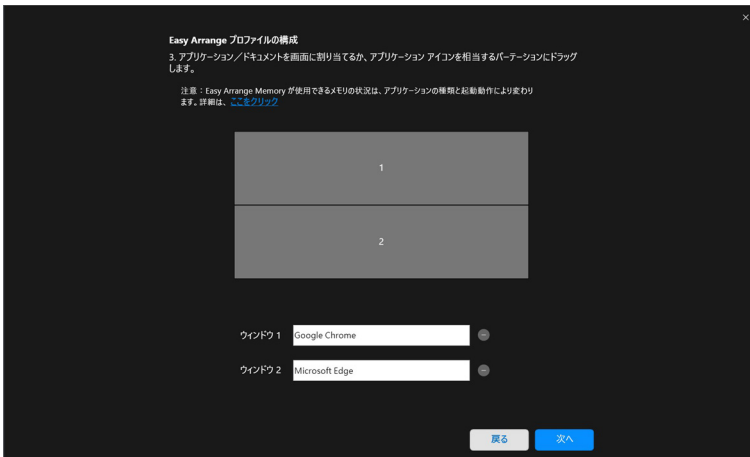
1. + をクリックすると、新しいプロファイルを作成できます。



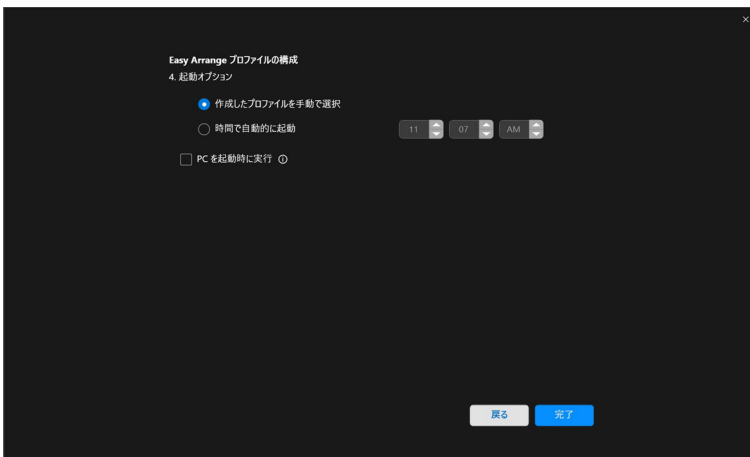
2. プロファイル名を入力し、レイアウトを選択します。次へをクリックします。



3. **+** をクリックするか、ファイルをパーテーションにドラッグして、各パーテーションに表示されるアプリケーションまたはファイルを割り当てます。**次へ** をクリックします。



4. プロファイルを起動する時間を設定し、**完了** をクリックします。



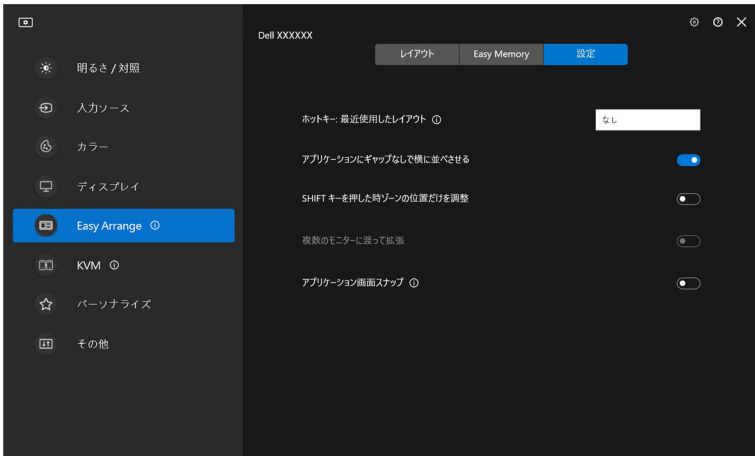
簡単アレンジ使用できるメモリの状況はアプリケーションの種類と起動動作により変わります。簡単メモリは Microsoft Office、Adobe、Web ブラウザなど、一般的な生産的アプリと一緒に使用します。

次のことを行っているときには、簡単メモリは起動時に画面のパーティションを実行しない場合があります。



- ・ 起動時にアプリがダイアログボックスを表示します（例：ログイン画面、エラーダイアログ、未保存のファイル）
- ・ アプリは全画面モードで起動します
- ・ ファイルはアプリ内で単独のタブとして開きます
- ・ 簡単アレンジレイアウトの重なり

設定

個人の環境設定を行います。



特長	機能	説明
簡単アレンジ	ホットキー：最近使用したレイアウト	ホットキーを設定して（例： Alt+R ）最近使用したレイアウトを選択します。また、ここで好みのホットキーに変更することも可能です。
	アプリケーションにギャップなしで横に並べさせる	この機能を有効にすると、アプリケーションを隙間なく横に並べてスナップすることができます。
	SHIFT キーを押した時ゾーンの位置だけを調整	Shift キーを押すと、 簡単アレンジメニュー が有効になります。
	複数のモニターに渡って拡張	複数のモニターを一行または縦横に配置している場合は、 簡単アレンジレイアウト を全モニターに適用して1つのデスクトップとして使用することができます。これを有効に活用するためには、モニターを適切に配置する必要があります。
	アプリケーション画面スナップ	パーティションにドラッグすると、アプリケーションを分割レイアウトに簡単にスナップできます。

-  注：アプリケーション画面が簡単アレンジで定義したゾーンに合わない場合は、アプリケーションが正しく表示されない場合があります。
-  注：複数のモニターに渡って拡張は、物理的な寸法、解像度、スケール設定が同じであり、横に並べて配置されている接続されているすべてのモニターに対してのみ有効になります。



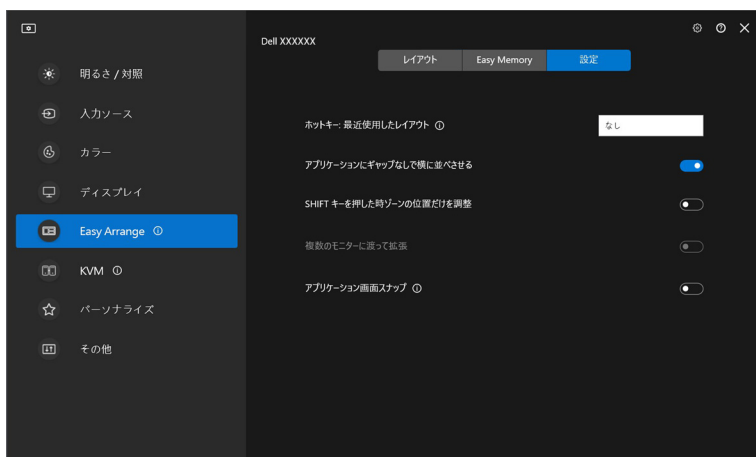
アプリケーション画面スナップの使用

アプリケーション画面スナップは、スクリーンにアプリケーションをすばやく配置できるように設計されています。DDM でこの機能を有効にして、アプリケーションをドラッグすると、最近使用した**簡単アレンジ**レイアウトが含まれたフロートメニューが開きます。アプリケーションをリストされたレイアウトの1つにドロップすると、画面を配置できます。

この機能がオンのときには、アプリケーションをそれぞれのモニターと、最近使用した4つの**簡単アレンジ**のレイアウトのゾーンにスナップする**簡単アレンジ**オプションから置き換わります。

この機能を有効にするには、次のいずれかの方法にしてください：

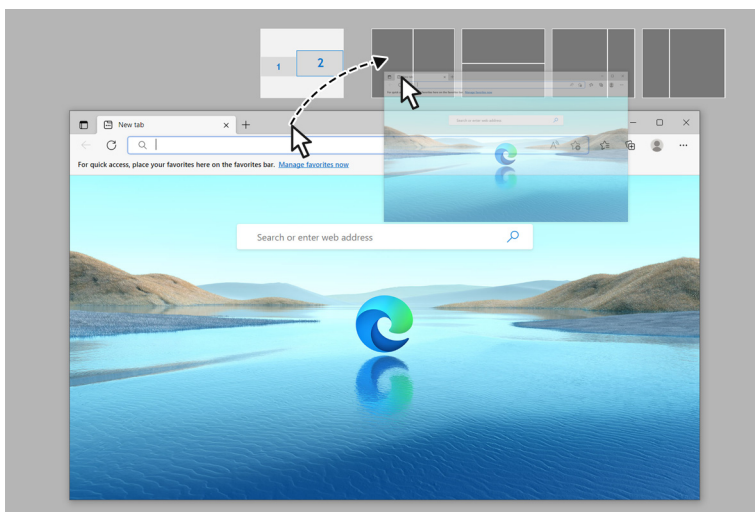
- ・ DDM を起動して、**簡単アレンジ**メニューを開き**アプリケーション画面スナップ**機能を有効にします。



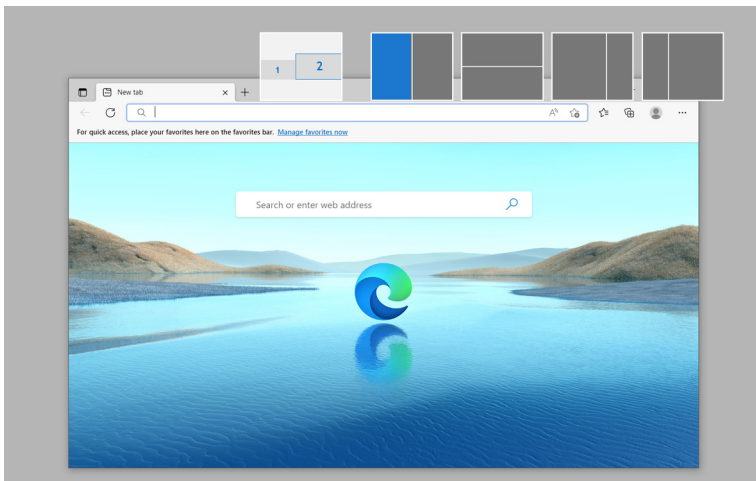
- ・ ステータスバーにある DDM アイコンを右クリックして、**アプリケーション画面スナップ**を選択すると、この機能が有効になります。



- ・ アプリケーション画面をフロートメニューのゾーンにドラッグ・アンド・ドロップします。



- ・ アプリケーションは、選択したゾーンにスナップします。

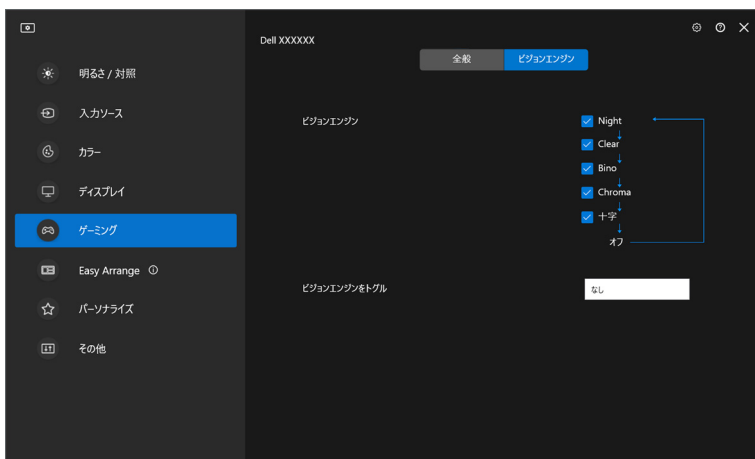
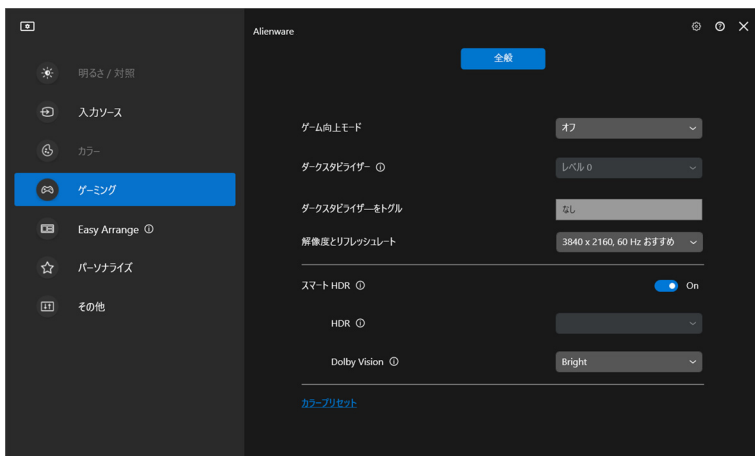


複数のモニターに渡って拡張を使用する場合は、**簡単アレンジ**メニューからこの機能をオフにすることができます。




ゲーミング設定

Alienware と Dell のゲーミングモニターでのみ利用可能なゲーミングメニューを設定することができます。



特長	機能	説明
全般	ゲーム向上モード	ゲーム向上モードをドロップダウンリストから選択します。
	応答時間	ドロップダウンリストより、応答時間を選択します。
	暗さスタビライザー	ドロップダウンリストからダークスタビライザーを選択します。
	ダークスタビライザーをトグル	ホットキーを組み合わせで（例： Alt+S ）暗いスタビライザーレベルを切り替えます。また、お好みのホットキーに変更することも可能です。
	スマートHDR	スマートHDRをオン/オフにします。スマートHDRがオンのとき、ドロップダウンリストからHDRモードを選択するか、ドルビービジョンモードを選択します。
	カラープリセット	その他カラーオプションは、カラープリセットをクリックします。
ビジョンエンジン	ビジョンエンジン	ゲームをするときに使えるビジョンエンジンを1つ以上選んでください。
	ビジョンエンジンをトグル	ホットキーを組み合わせで（例： Alt+T ）ビジョンエンジンを切り替えます。また、お好みのホットキーに変更することも可能です。

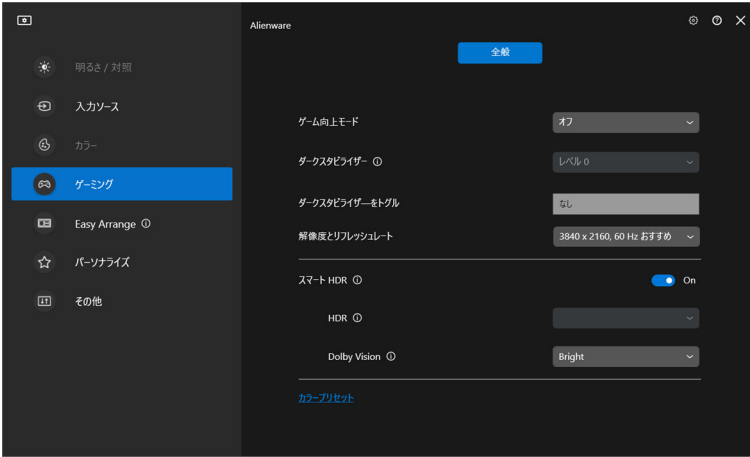
 注：ゲーミングメニューの機能および使用できるオプションは、モニターのモデルによって異なります。




ドルビービジョン

ドルビービジョンは、ドルビービジョン HDR モードを次のように設定できません。

- ・ **ブライト**：ドルビービジョン ブライトモードの設定に準拠します。
- ・ **ダーク**：ドルビービジョン ダークモードの設定に準拠します。
- ・ **ゲーム**：ドルビービジョンのゲームが検出されると、このモードが自動的に有効になります。また、ゲームをする場合にドルビービジョンを有効にするために、このモードを選択することもできます。



 **注**：ドルビービジョンのコンテンツが表示されていない場合、またはスマート HDR がオフに設定されているとき、またはカスタムカラー HDR（スマート HDR から）が選択されているときには、この機能は無効になります。



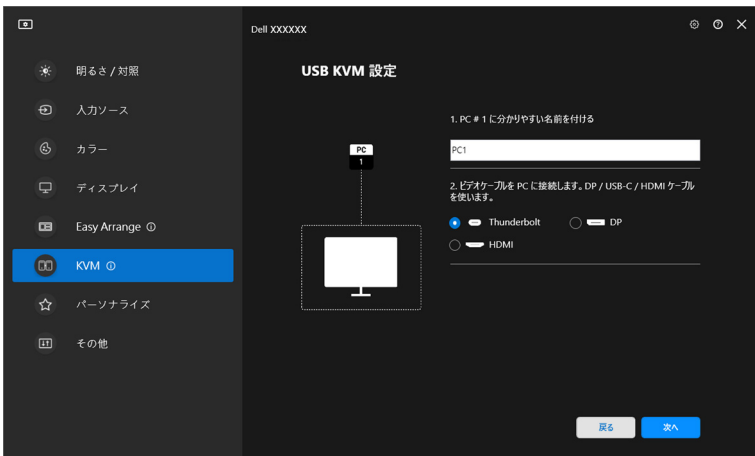
USB KVM のセットアップ

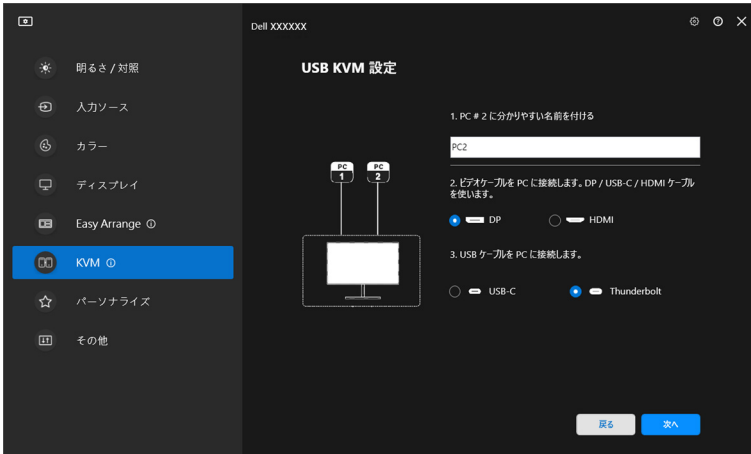
USB KVM がサポートされるモニターでは、設定時に接続している複数のコンピューターでキーボードやマウスを共有することができます。

設定するには、**USB KVM** を選択して**次へ**をクリックし、画面の指示に従ってモニターに接続されているコンピューターを設定してください。

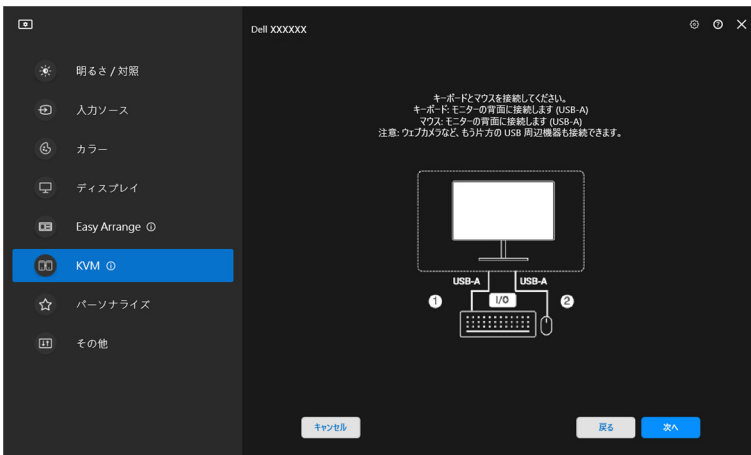


1. 入力ソースとそのコネクタをペアリングし、好ましい名称を割り当てます。

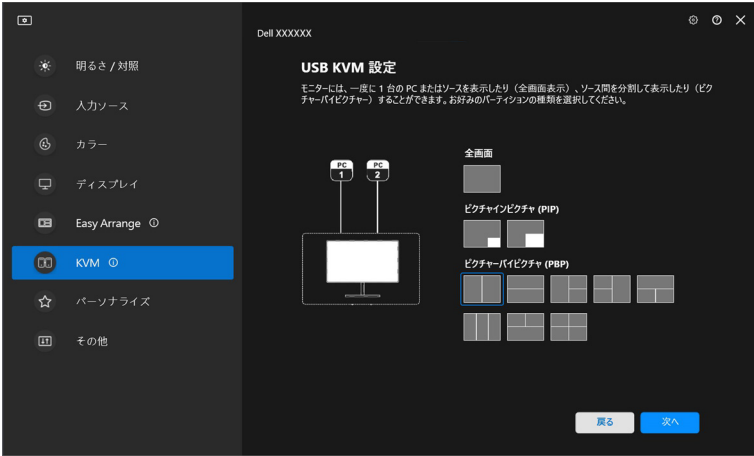




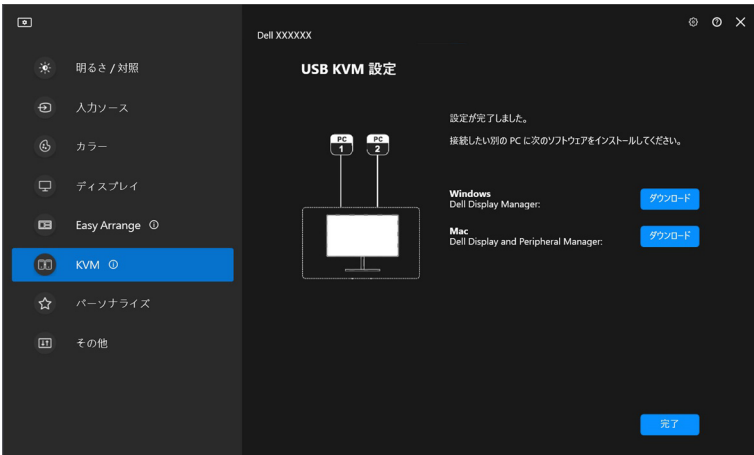
2. キーボードとマウスをモニターに接続します。




3. 好きなレイアウトを選択します。



4. ダウンロードをクリックして、接続する他のコンピューターの Dell Display Manager (Windows) または Dell Display and Peripheral Manager (Mac) をダウンロードします。最後に完了をクリックして KVM セットアップを保存して終了します。

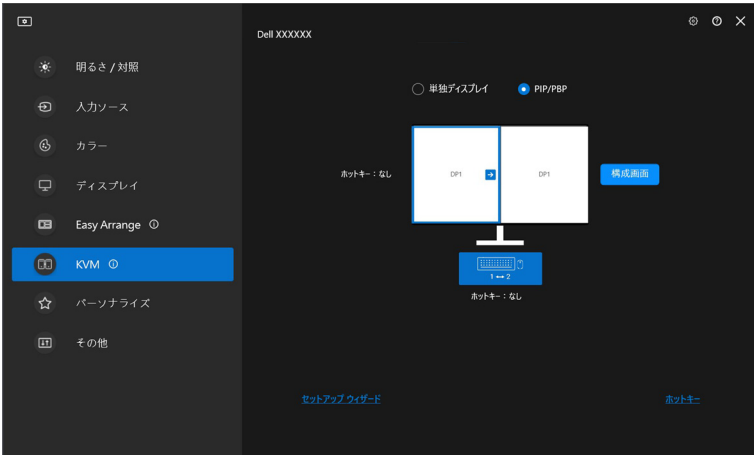
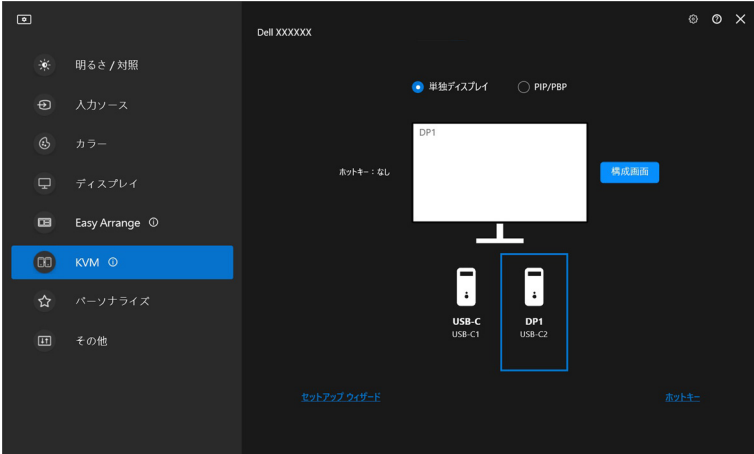


 注：モニターが別のコンピューターの映像を表示していても、DDM はあなたのモニターと通信します。よく使うコンピューターに **Dell Display Manager (Windows)** または **Dell Display and Peripheral Manager (Mac)** をインストールし、そこから入力スイッチを制御することができます。また、**Dell Display Manager (Windows)** または **Dell Display and Peripheral Manager (Mac)** をモニターに接続されている他のコンピューターにインストールすることもできます。



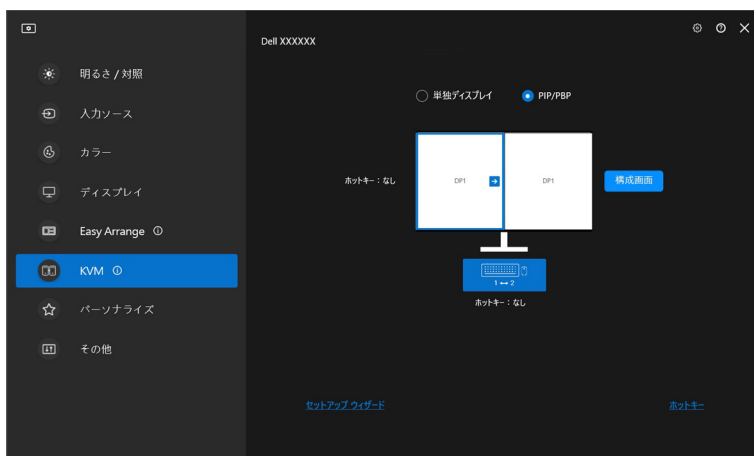
USB KVM 設定を変更する

KVM セットアップ完了後、セットアップ手順を再度実行するか、構成画面をクリックして画面構成を変更することで、USB KVM の設定を変更することができます。



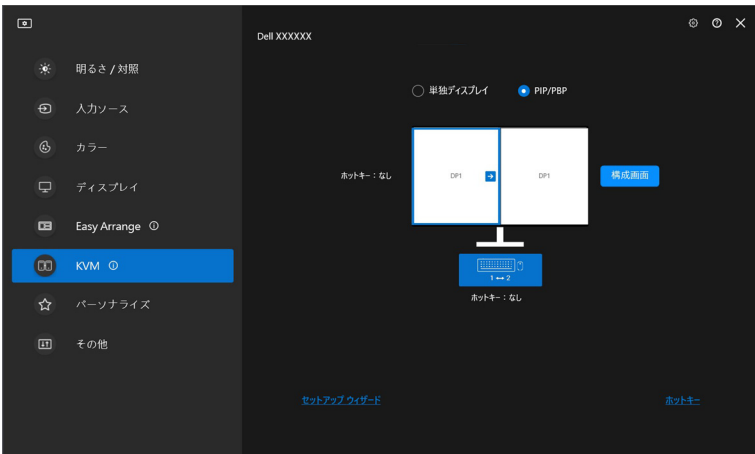
特長	機能	説明
単独ディスプレイ	ビデオ入力の変更	デスクトップのコンピューターのアイコンをクリックするか、 ホットキー を押して、現在のビデオ入力を変更します。
PIP/PBP	ビデオスワップ	矢印をクリックするか、 ホットキー を押して、メイン/サブのビデオ入力を入れ替えます（PIP または PBP サイドバイサイド レイアウトでのみ使用可能）。
	USB 切替	キーボードとマウスのアイコンをクリックするか、 ホットキー を押すと、アクティブな入力ソースの USB アップストリームポートが切り替わります。

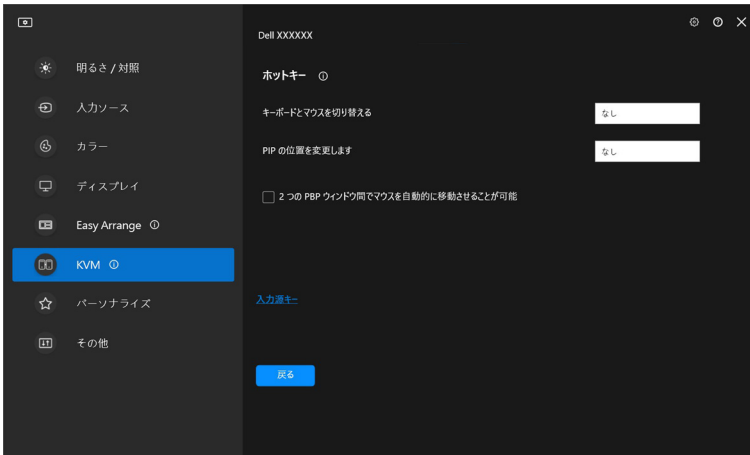
1. 構成画面をクリックして、**KVM 構成画面**ページに入り、スクリーンのレイアウトを変更します。






2. ホットキーをクリックしてホットキーページに入り、KVM ホットキーを構成します。





 注：画面構成に応じた関連するホットキーのみが表示されます。


特長	機能	説明
ホットキー	コンピューターを切り替える	ホットキーを組み合わせる（例：Alt+P）シングルディスプレイモードのコンピューターを切り替えます。
	キーボードとマウスを切り替える	ホットキーを組み合わせる（例：Alt+U）PBP または PIP モードのコンピューター間でキーボードとマウスを切り替えます。
	PIP の位置を変更	ホットキーを組み合わせる（例：Alt+Q）PIP の位置を変更します。
	2 つの PBP ウィンドウ間でマウスを自動的に移動させることが可能	PBP モードがオンのとき、端からスライドさせることによって、1 台のコンピューターから別のコンピューターにキーボードとマウスを切り替えることができます。
	入力源キー	入力源キー をクリックすると、その他のホットキー設定ができます。




Network KVM の設定

Network KVM 機能に対応するモニターの場合は、どのようなコンピューターでも同一ネットワークに接続したキーボードとマウスを別のコンピューターで共有することができます。また、ネットワーク上のコンピューター同士でファイルを転送することもできます。

Network KVM は KVM ウィザードから使用できます。**Network KVM** ブロックをクリックして、画面の指示に従い **Network KVM** を設定してください。

 注：**Network KVM** は、この機能に対応する一部のモニターでしか設定できません。

 注：別のユーザーに切り替える場合は、一旦 **Network KVM** の接続を解除してください。**Network KVM** がオンになったとき、コンピューターが保留状態から復帰したとき、対応するモニターに接続されているとき、またはネットワーク構成が変更されたときには、**Network KVM** は現在のクラスタに再接続されます。アクセスしたデータはユーザー毎に別々に保存されます。

1. **Network KVM** ブロックを選択して、次へをクリックした後で設定を開始します。

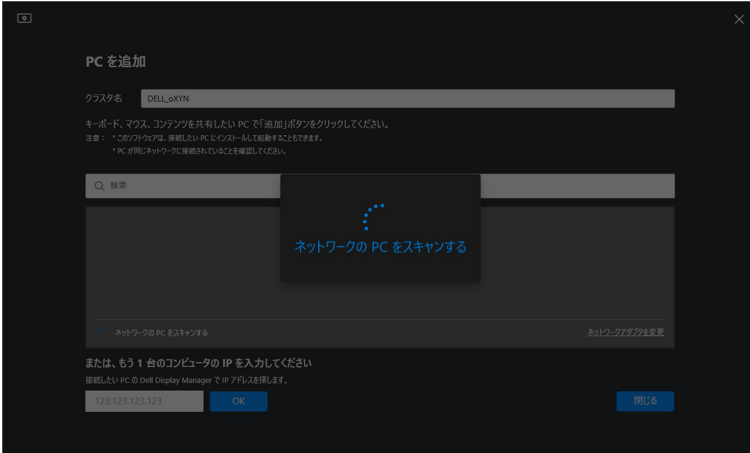


 注：ターゲットとなるコンピューターに DDM または DDPM がインストールされていない場合は、**Dell Display Manager (Windows)** または **Dell Display and Peripheral Manager (Mac)** をクリックして Dell サポートページを開き、目的のコンピューターにアプリケーションをダウンロードしてください。チェックリストに記載されているすべての項目が完了していることを確認してください。

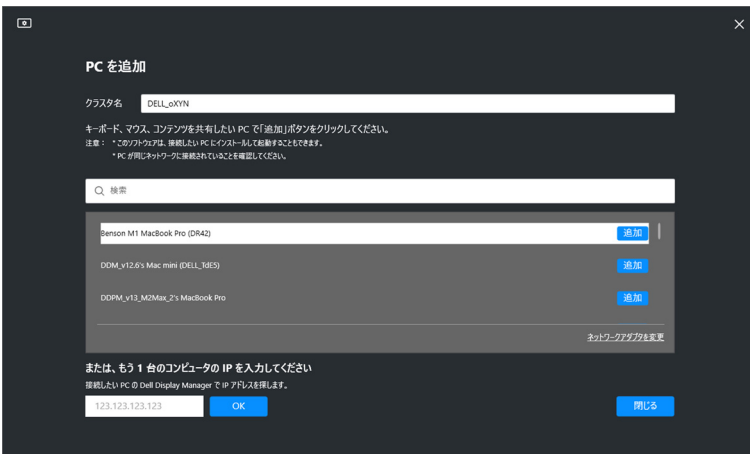


2. **Network KVM** は同一サブネット内にあるすべてのコンピューターをスキャンして、セットアップに対して最高のモードを決定します。

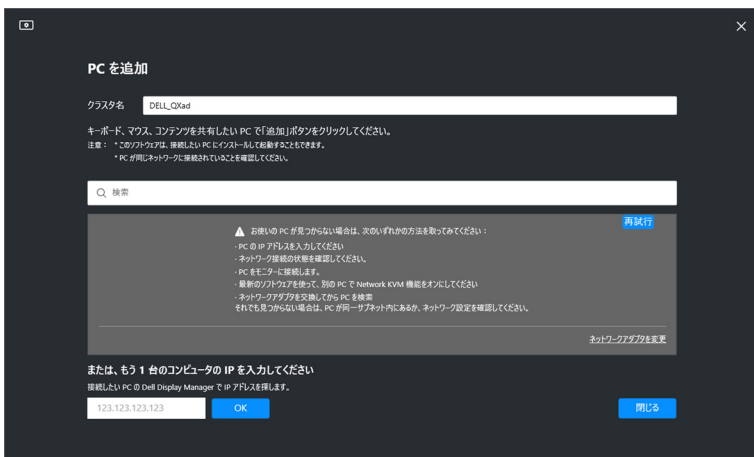
- ・1台のモニターしかなく、サブネットのすべてのコンピューターがそのモニターに接続されている場合は、**Network KVM** は**単独ディスプレイモード**を選択してそれらを自動的に接続します。**単独ディスプレイモード**まで実行します。




- ・別のモニターに接続されたコンピューターがサブネット内にある場合は、**Network KVM** が **PC を追加** ページを開きます。**追加** をクリックするとコンピューターを接続します。

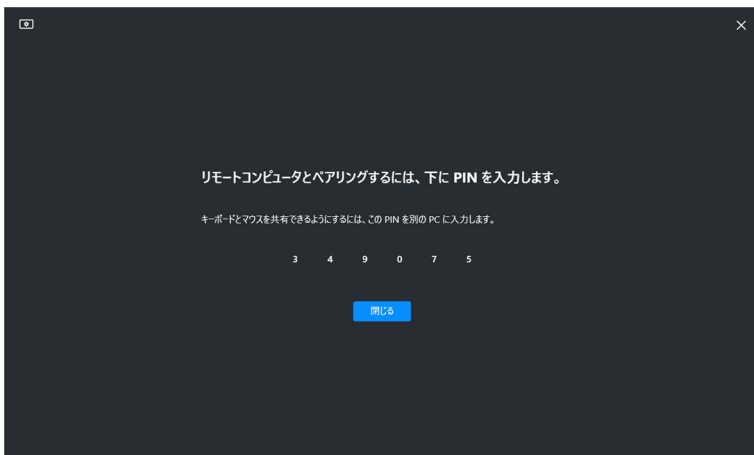


- ・ スキャンしても使用可能なコンピューターが検出されない場合は画面の指示にしたがって問題を解決し、**再試行**をクリックして再度スキャンを行ってください。




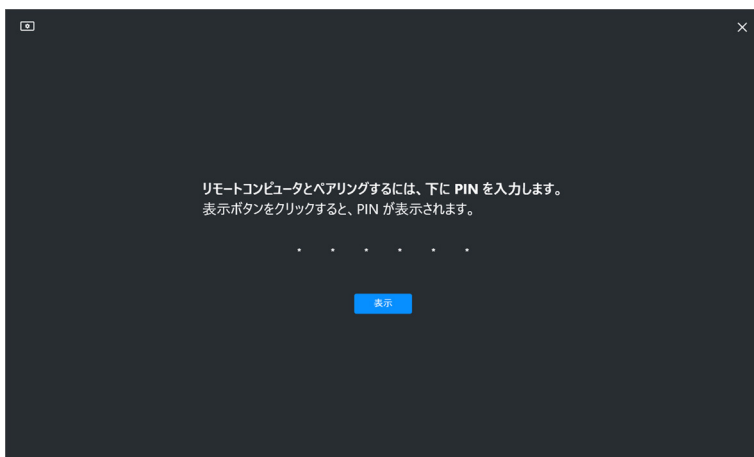
 **注**：それでも追加したいコンピューターが見つからない場合は、**ネットワークアダプタを変更**をクリックしてスキャンするアダプタを変更してみてください。または、**IPを入力**をクリックすると、手動で IP を入力して接続を確立することができます。

3. コンピューターを初めて別のモニターと接続するときには、接続しようとしているリモートコンピューターに PIN が表示されます。ローカルコンピューターで PIN を入力して、接続処理を続行します。





-  **注：** ローカルコンピューターが別のリモートコンピューターに接続されている場合は、**表示**をクリックして PIN コードを表示するよう要求されます。




4. リモートコンピューターが接続されている場合は、そのコンピューターは**追加完了**として表示されます。



5. **Network KVM** は、接続したコンピューターの状態に応じて最も適したモードを選択します。

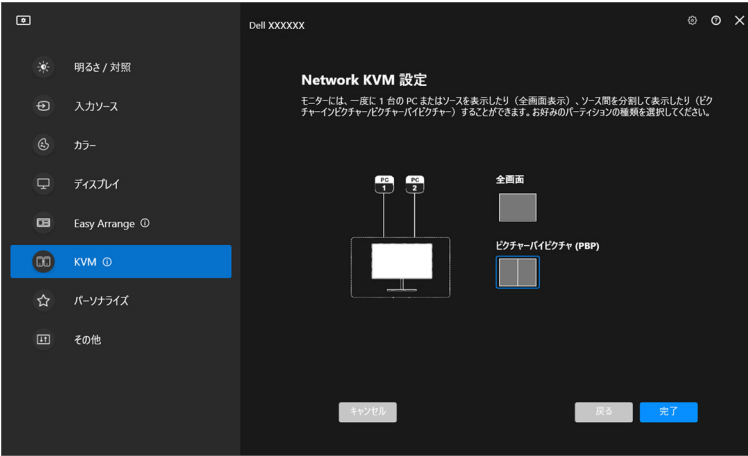
コンピューターとモニターの接続	説明
すべてのコンピューターが1台のモニターに接続されている場合。	Network KVM は 単独ディスプレイモード で設定します。
ログインされていないコンピューターに接続する場合。	
複数のモニターに接続されているコンピューターと接続する場合。	Network KVM は 複数のディスプレイモード で設定します。
別のモニターに接続されているコンピューターと接続する場合	


 **注** : **Network KVM** は、Windows にログインまたはログアウトする前にコンピューター操作ができるようにします。ログイン/ログアウトした後で接続を解除し、**Network KVM** が再度使用可能になったときに再接続するため、ログイン/ログアウト中は接続速度が遅くなります。



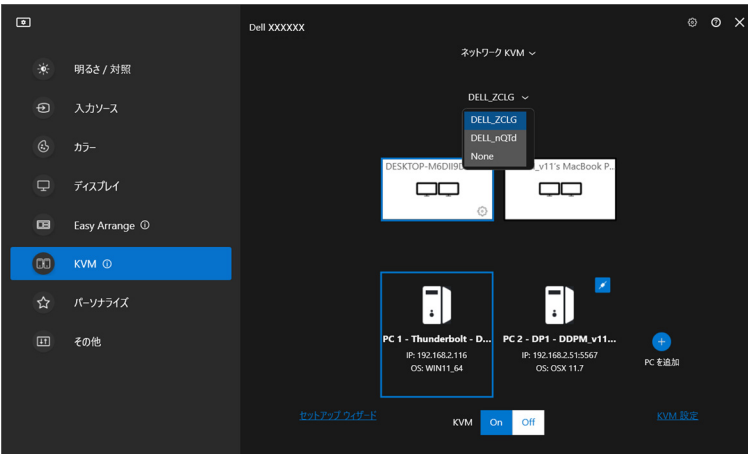
単独ディスプレイモード


単独ディスプレイモードで好きな PBP レイアウトを選択して、完了をクリックすると設定が完了します。



 注：Network KVM は全画面および PBP に対応しますが、PIP には対応しません。

Network KVM は直近 5 個のクラスタを自動的に保存します。ドロップダウンリストから最近使用したクラスタを選択すると、保存したクラスタを再開したり、編集したりすることができます。




 注：最近のクラスタを管理するには、Network KVM の構成を設定するをお読みください。




Network KVM の使用


接続したコンピューターは1つのクラスタとして機能し、KVM 機能を実行することができます。各クラスタには最大 4 台のコンピューターを含めることができます。

特長	機能	説明
クラスタ	キーボードとマウスの共有	接続した複数のコンピューターでキーボードとマウスの入力を共有できますが、一度に1台のコンピューターしか操作することはできません。 注： 高い DPI マウスを使用する場合は、帯域制限のためにリモートコンピューターからの応答が遅れる場合があります。 注： 特定のキーの組み合わせ、ファンクションキー、特殊キー、タッチバーキーでは、リモートコンピューターを操作することはできません。
	マウスの交差	マウスのカーソルは、接続した別のコンピューターに移動させることができます。交差ポイントは、KVM 設定で決めることができます。
	クリップボードの共有	クリップボードのテキスト、画像、またはファイルは接続した別のコンピューターにコピーできます。* 注： リモートコンピューターではカット・アンド・ペーストはサポートされていません。
	ドラッグ・アンド・ドロップ	テキストやファイルを接続した別のコンピューターにドラッグ・アンド・ドロップすることができます。*

 **注意：** Dell Display Manager を活用すると、エンドツーエンド暗号化により複数のコンピューターでセキュアコンテンツとファイル共有を有効にすることができます。ただし、マルウェア対策ソフトウェアとしては機能せず、転送時に悪意あるファイルに対してスキャンングや保護を行うわけではありません。Network KVM でファイルおよびコンテンツ転送を活用する前に、マルウェア対策やその他のセキュリティツールをインストールしておくことをお勧めします。複数のコンピューターでファイルを共有したくない場合は、KVM 設定 > クラスタを管理を選択してこの機能をオフにしてください。



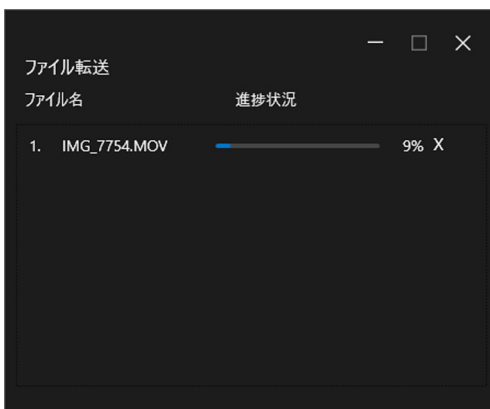
 注：ノートパソコンの画面配置からマウスの交差点を調整することができます。PBP モードのときにモニター設定において交差点に画面配置が設定されている場合は、マウスをその画面へ移動させることができないかもしれません。このような場合は、Network KVM が再度モニターの位置を調整し直します。


 注：Network KVM がオフの状態からオンに戻った後、メインコンピューターが保留状態から復帰した後、対応するモニターに接続した後は、構成したクラスタは接続を再開できない場合があります。この場合は、ドロップダウンリストから手動でクラスタを切り替えるか、Network KVM のメインページでオフラインのコンピューターを手動で接続する必要があります。

* サポートされるコピー・アンド・ペーストおよびドラッグ・アンド・ドロップ操作は以下の表をご覧ください。

	コピー・アンド・ペースト	ドラッグ・アンド・ドロップ
テキスト（エディター）	対応	対応
ファイル（フォルダー）	対応	対応
画像（エディター）	対応	未対応
ファイル（エディター）	未対応	未対応

別のコンピューターにファイルをコピーするときには、ファイル転送ダイアログが開きます。現在の転送状況を追跡したり、エラーを確認したり、転送をキャンセルしたりすることができます。




 注：Windows オペレーティングシステムで禁止されている文字を持つファイル名には対応していません。



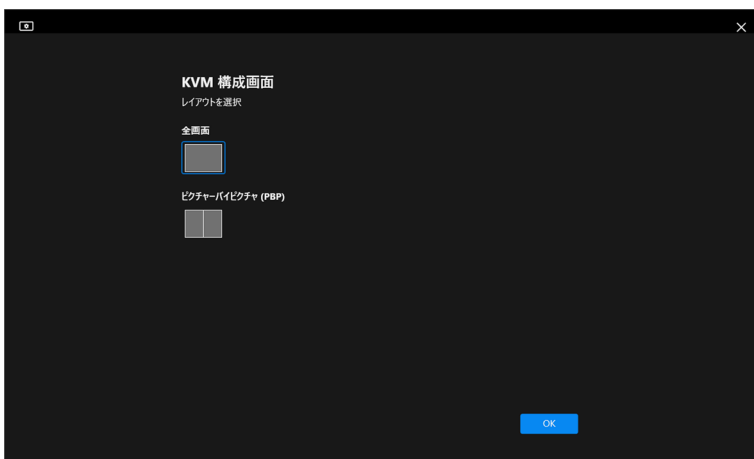
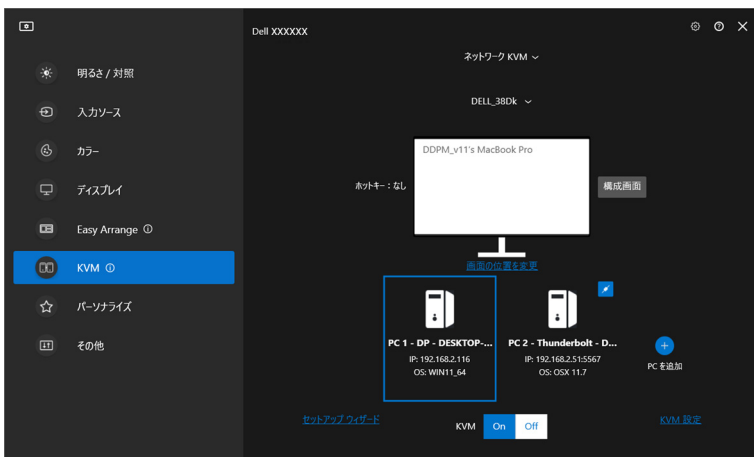
クラスタの概要

設定が完了すると、**Network KVM** には現在のクラスタの概要が表示されます。

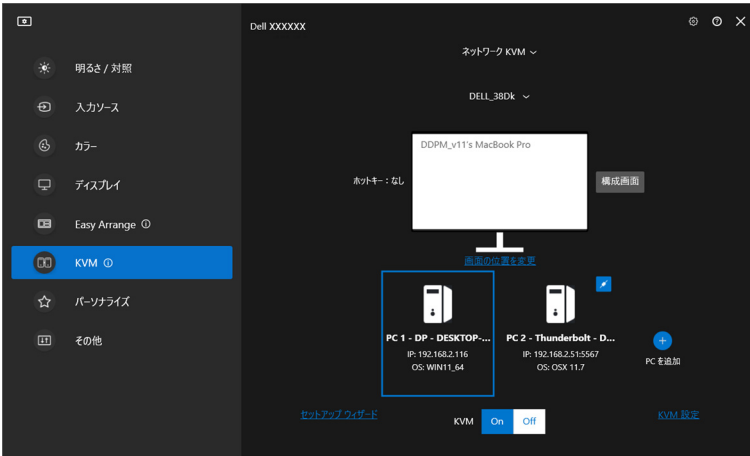
 **注** : **Network KVM** の概要は、設定の種類によって変わる場合があります。

単独ディスプレイ (PBP オフ)

- ・ **構成画面** をクリックして、**KVM 構成画面** ページに入り、スクリーンのレイアウトを変更します。



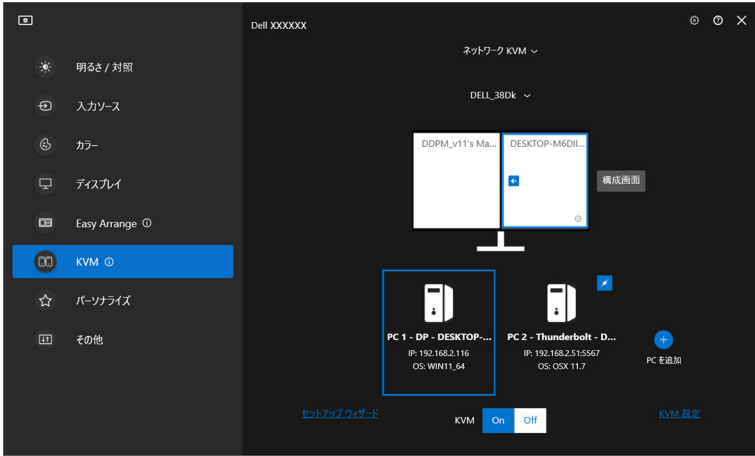
- 画面の位置を変更をクリックするとディスプレイページに入りますので、コンピューターの配置を入れ替えてください。




特長	機能	説明
画面の位置を変更	画面を入れ替える	モニターブロックをドラッグ・アンド・ドロップして水平に配置します。青く拡大されたブロックは、現在アクティブになっているコンピューターに接続されたモニターです。
	識別	識別をクリックすると、モニターに接続したそれぞれおコンピューターに割り当てた番号が表示されます。



単独ディスプレイ（PBP オン）

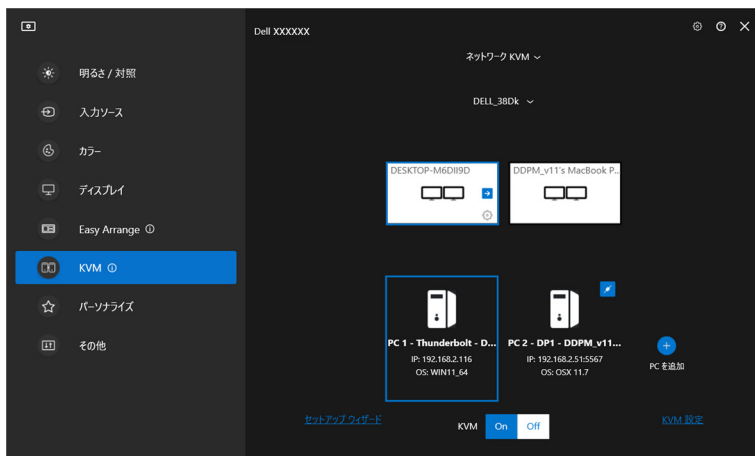


特長	機能	説明
単独ディスプレイ	ビデオスワップ	<ul style="list-style-type: none">・ モニターブロックにカーソルを合わせて、表示された矢印をクリックします。・ 1個のモニターブロックを別のモニターブロックにドラッグ・アンド・ドロップします。




 注：コンピューターのホットキーを切り替える方法については、[Network KVM の構成を設定する](#)を参照してください。



複数のディスプレイ

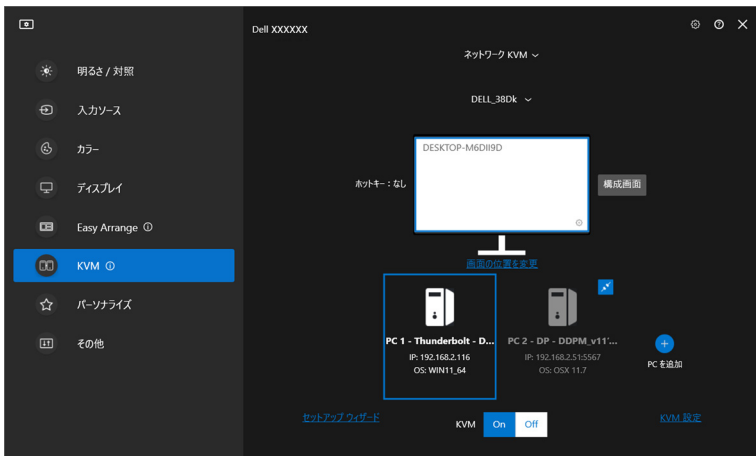


特長	機能	説明
複数のディスプレイ	画面を入れ替える	<ul style="list-style-type: none">・ モニターブロックにカーソルを合わせて、表示された矢印をクリックします。・ 1個のモニターブロックをドラッグ・アンド・ドロップして水平に配置します。

-  注：オペレーティングシステムでそれぞれのコンピューターの画面設定を見て、複数のディスプレイのレイアウトと設定を評価してください。
-  注：Network KVM の設定で最大 4 台のコンピューターを接続して操作することができます。
-  注：DDM が DDC/CI で PBP の位置を読み取ることができない場合は、Network KVM が複数のディスプレイ設定を自動的に選択し、PBP 配置ではなく水平位置にコンピューターを配置します。



システムの概要



クラスタのすべてのコンピューターに関する情報は、KVM メニューの一番下に表示されます。ローカルコンピューターは青い線で囲まれています。接続されているコンピューターは白、接続されていないコンピューターはグレイで表示されます。



特長	機能	説明
システム の概要	接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターブロックを右クリックしてメニューを表示した後、接続をクリックすると接続されていないコンピューターを再度接続できます。 ・ 接続ボタンをクリックして、接続が解除されているコンピューターを再接続します。
	接続解除	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターブロックを右クリックしてメニューを表示した後、接続解除をクリックすると接続されているコンピューターを接続解除できます。 ・ 接続解除ボタンをクリックして、接続を解除したコンピューターを再接続します。
	削除	コンピューターブロックを右クリックしてメニューを表示した後、 削除 をクリックするとそのコンピューターがクラスタから削除されます。
	PC を切り替え	PBP オフの状態ですべてのディスプレイモードに設定されているとき、 PC を切り替え をクリックすると複数のコンピューターの間でビデオ入力を切り替えることができます。



Network KVM の構成を設定する

KVM メニューの右下にある **KVM 設定** を使用すると、**Network KVM** 構成を変更することができます。

ネットワーク

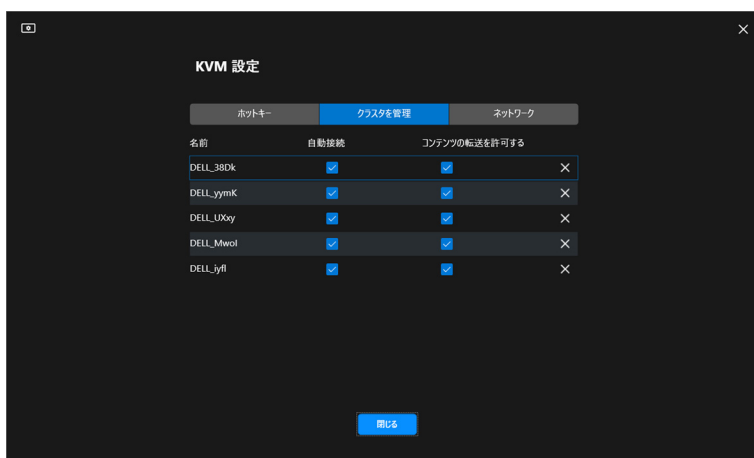


特長	機能	説明
ネットワーク	ポート（出力ポート、入力ポート、コンテンツ転送）	ネットワークやファイル転送ポートを設定できます。ポート番号は1024から49151の範囲でなければなりません。それぞれのポートには異なる番号が必要です。
	Network KVM	Network KVM が異常の動作を検出した場合は、セキュリティのためにネットワーク機能を自動的にロックします。スイッチをロック解除に切り替えます。
	Network KVM アクセスの有効期限	セキュリティを強化するために、 Network KVM は毎年期限が切れます。アクセス期限が切れた場合は、再度クラスタを構成する必要があります。
	Network KVM アクセスを更新します	セキュリティが低くなっている場合は、セキュリティ強化のためにアクセスを更新することができます。アクセスを更新した後は、再度リモートコンピュータを認証する必要があります。




クラスターを管理

直近の 5 個のクラスタの構成を変更することができます。



特長	機能	説明
クラスターを管理	クラスタの名前を変更	名前またはえんぴつボタンをクリックして、クラスタの名前を編集します。
	クラスタの削除	削除ボタンをクリックしてクラスタを削除します。
	自動接続	DDM 起動時にクラスタを自動的に再開するにチェックマークを付けます。
	コンテンツの転送を許可する	クリップボードとファイルの共有を有効にするにチェックマークを付けます。


 注：コンテンツ転送および自動接続の設定はクラスタクリエーターの初期設定で行い、**KVM 設定**で変更できます。設定は接続した、同一クラスタ内で接続されたコンピューターと同期されます。



ホットキー



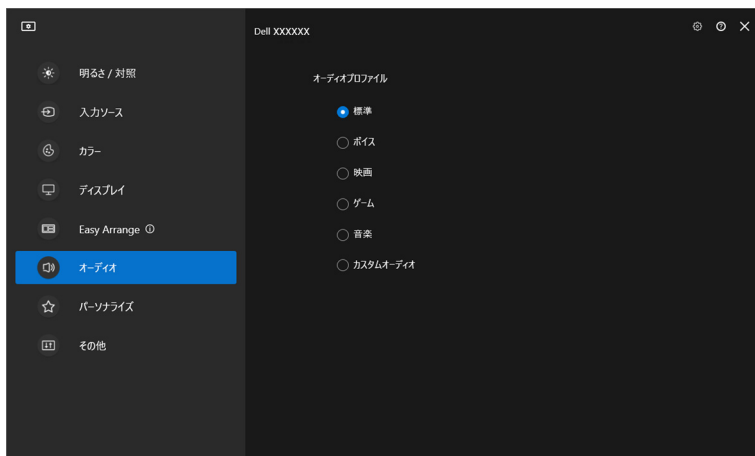
特長	機能	説明
ホットキー	Network KVM : 複数の PC で切り替えるためのホットキー	このホットキーを押すと、 単独ディスプレイモード でコンピューターソースを切り替えることができます。
	マウスカーソルがローカルコンピューターに復元します。	コントロールをキーボードが接続されているコンピューターのプライマリモニターに戻します。マウスポインタはプライマリモニターの中心に戻ります。 注 : コンピューターのプライマリモニターがアクティブではない場合は、 Network KVM がモニターの入力源をコンピューターに切り替えます。
	入力源キー	入力源を切り替えるためのホットキーを割り当てます。

 **注** : Network KVM のホットキー設定は、クラスタに接続したすべてのコンピューターで自動的に同期されます。



オーディオ設定

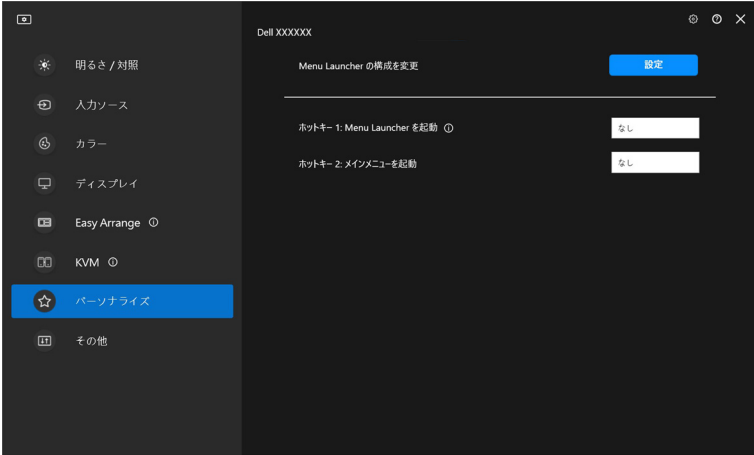
オーディオメニューでモニターに合ったオーディオプロファイルを設定します。



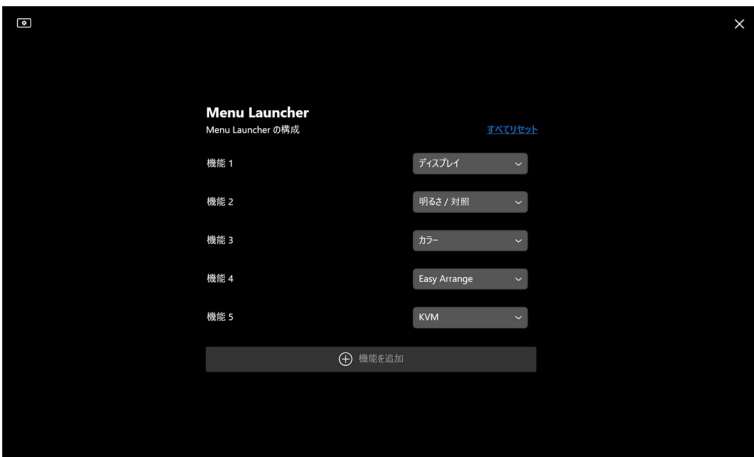
パーソナライズ設定

Menu Launcher の構成を変更する

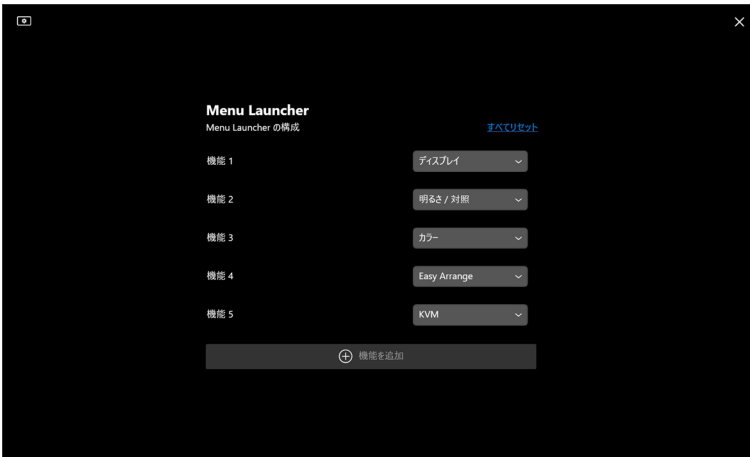
1. **Menu Launcher** のクイックアクセス機能を変更するには、**設定**をクリックします。




2. ドロップダウンリストから機能を選択します。**Menu Launcher** に機能を追加する場合は、**機能を追加**をクリックします。



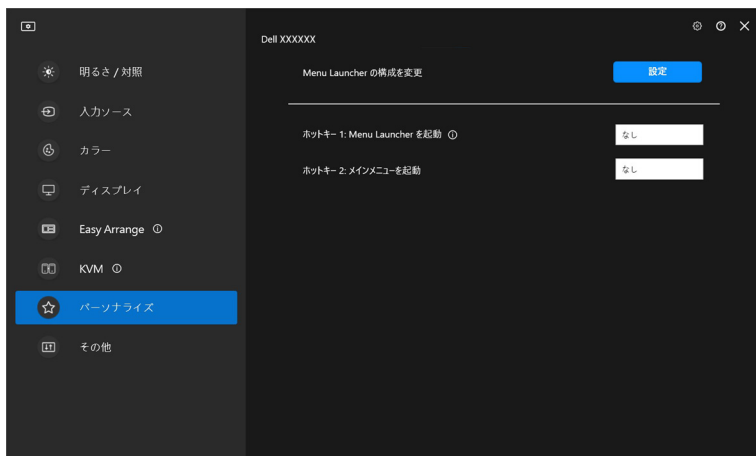
3. **Menu Launcher** の機能をリセットするには、**すべてリセット**をクリックします。



 注：ご使用のモニターの構成により、使用できる機能が異なる場合があります。



DDM 起動ホットキー設定を変更する

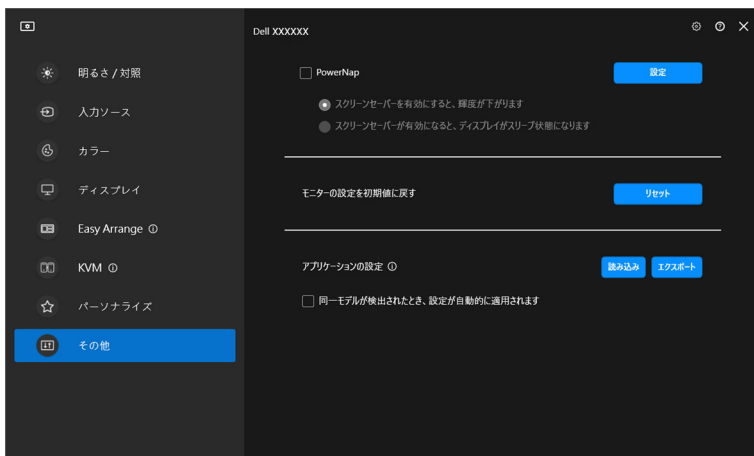



特長	機能	説明
パーソナライズ	Menu Launcher を起動	ホットキーを設定すると（例： Alt+M ）、マウスのカーソルがあるモニターの Menu Launcher が開きます。
	メインメニューを起動	ホットキーを設定すると（例： Alt+D ）、マウスのカーソルがあるモニターの メインメニュー が開きます。



省エネ機能を適用する

Dell の対応機種では、**その他**メニューから **PowerNap** の省エネオプションが利用できます。モニターの輝度を最低レベルに設定するか、スクリーンセーバーをアクティベートしたときに、モニターをスリープモードにすることができます。

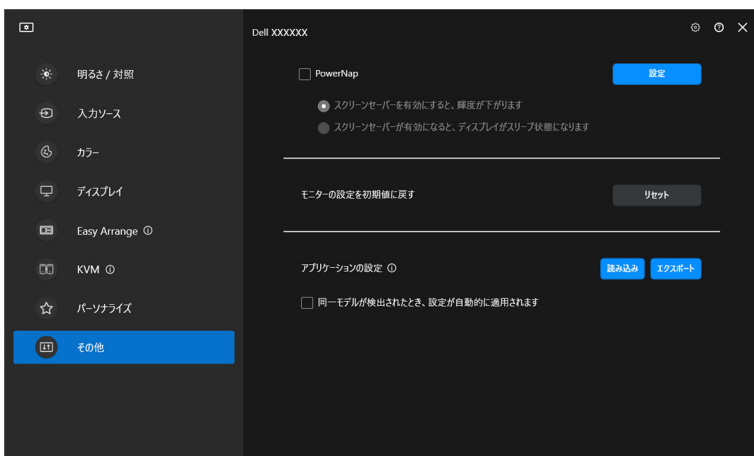


 注：PBP または PIP では、通常の活動を妨げないように PowerNap オプションが無効になっています。



モニター設定のリセット

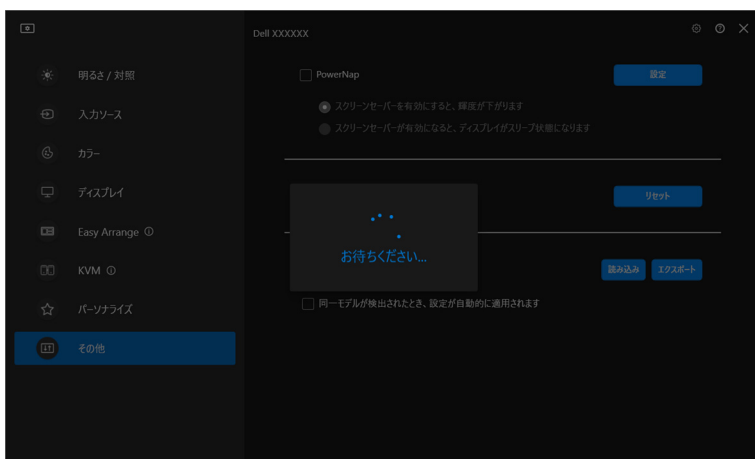
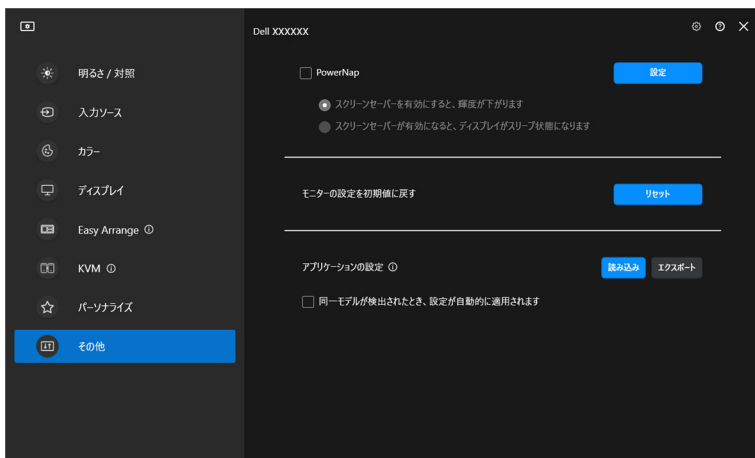
リセットをクリックすると、**その他**メニューのすべてのモニター設定がリセットされます。

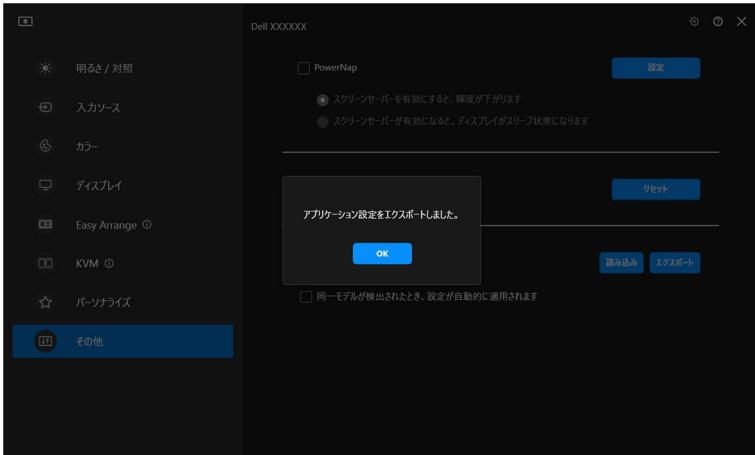


アプリケーション設定のインポート / エクスポート

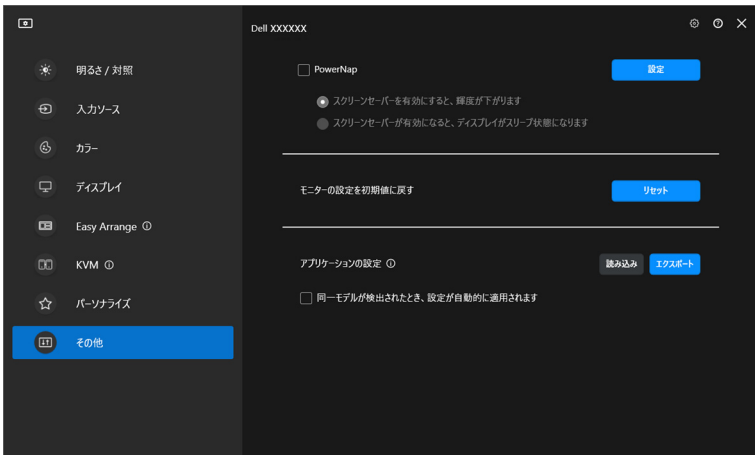
あるモニターからモニター設定をエクスポートし、同じ機種別のモニターにインポートする場合に使用します。

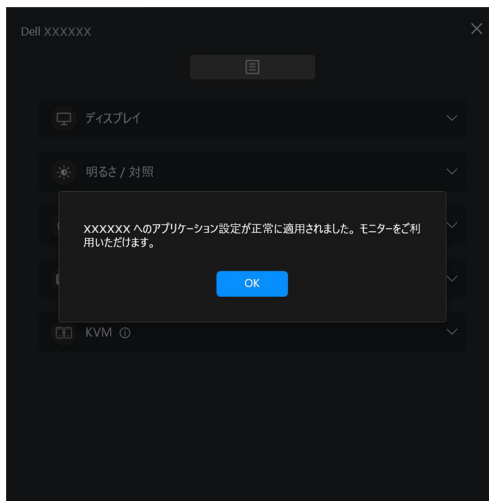
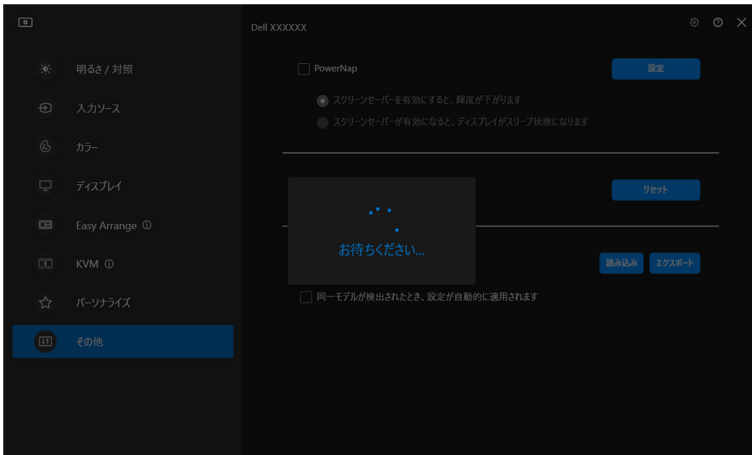
1. エクスポートをクリックすると、選択したモニターのアプリケーションとモニターの設定のコピーをファイルに保存し、正常にエクスポートされたら OK をクリックします。



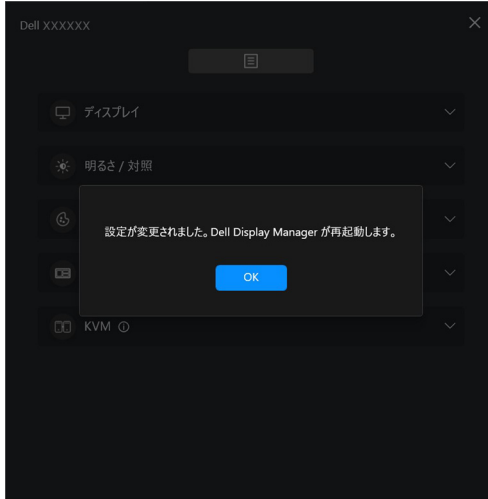


2. 以前にエクスポートしたファイルから設定をインポートするには、**読み込み**をクリックし、ファイルを選択します。モニター設定は、接続されている同一機種すべてのディスプレイに適用されます。



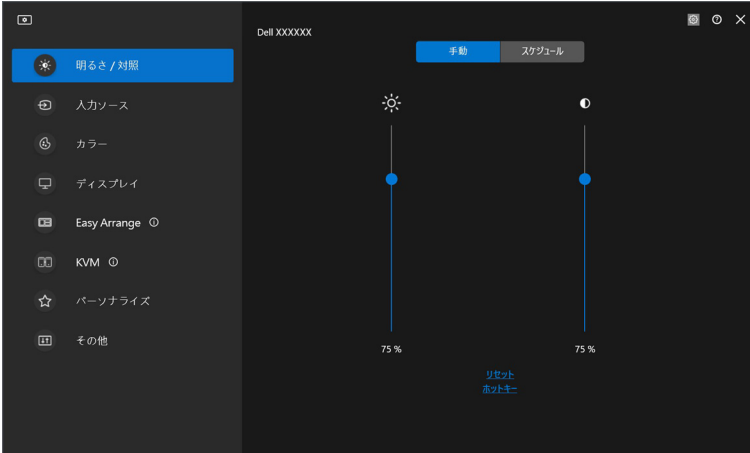


3. DDM は、ファイルをインポートした後、再起動します。



追加設定

DDM の追加設定は、**設定**で行えます。**設定**アイコンをクリックして、設定を調整することができます。

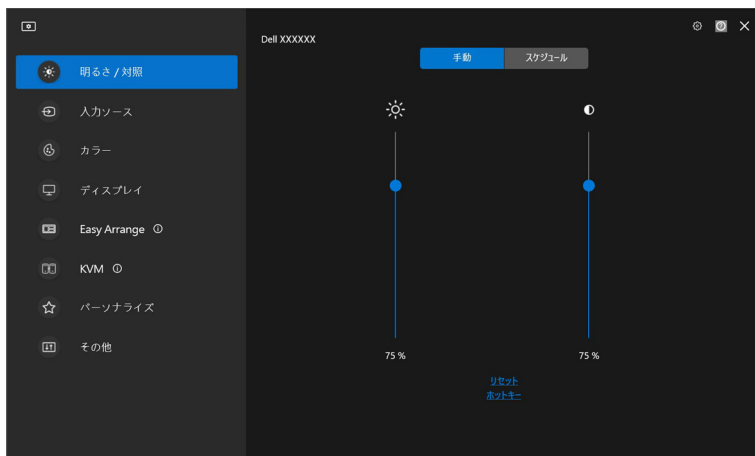


特長	機能	説明
全般	アプリケーション言語の変更	DDM に 優先言語 を適用します。デフォルトの 優先言語 は、Windows の言語設定に従った、 優先言語 リストの最初の言語です。
	スタートアップ時に自動読み込み	コンピューターの起動時に DDM を起動します。
	スクリーン通知を有効にする	DDM に通知メッセージを表示できるようにしました。
	診断レポートの保存	診断レポートを保存するには、 診断レポートの保存 をクリックします。このレポートには、システムおよびモニター関連の情報と、DDM のランタイムログが含まれています。
	モニター画面資産レポートを保存する	モニター画面資産レポートを保存するには、 モニター画面資産レポートを保存する をクリックします。このレポートには、接続されているすべてのモニターの EDID（拡張ディスプレイ特定データ）情報が含まれています。

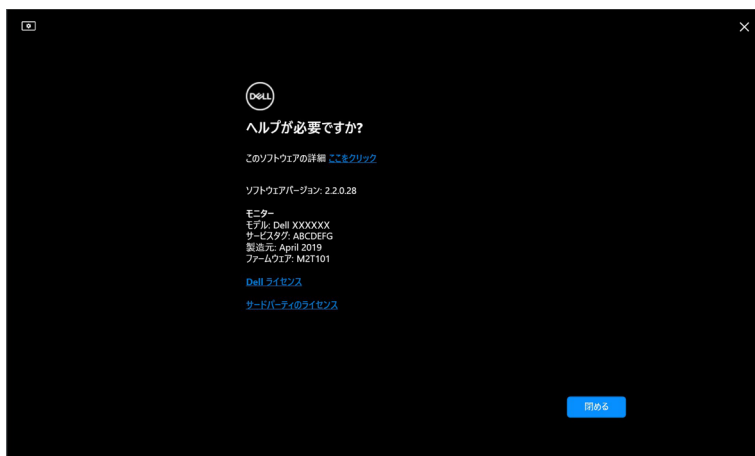


ヘルプ

ヘルプには、その他のソフトウェアやモニターの情報が掲載されています。「？」をクリックして、ヘルプ画面にアクセスします。






ソフトウェア情報は、[ここをクリックして入手](#)できます。また、モニターのモデル名、サービスタグ、製造年月日、ファームウェア情報を取得することができます。[閉める](#)をクリックし、ヘルプ画面を終了します。




問題を解決する

DDM の各状態について

特長	機能	説明
DDM アイコン	検索 	対応モニターを検索しています。
	接続済み 	対応モニターが接続されています。 注： DDM のドロップダウンメニューに対応モニターが表示されていない場合は、右クリックで更新することができます。
	接続できません 	対応するモニターが接続されていないか、モニターの接続に通信エラーが発生している可能性があります。 以下のモニターを検出できない理由を参照してください。

DDM がモニター上で動作しない場合、ステータスメニューに次のアイコンとメッセージが表示されます。



 **注：** DDM は一部の Dell ブランドのモニターでのみ動作し、他のメーカーのモニターではサポートされていません。



DDM でサポートされていない Dell モニター

DDM は次のモニターとは作動しません。

- ・ Windows 用の DDM のサポートリストに含まれない Dell モニターモデル。詳細は、<https://www.dell.com/support/ddm> を参照してください。
- ・ Windows 用の DDM のサポートリストに掲載されていないモニター。仮想モニターやワイヤレス モニターは DDC/CI をサポートしません

サポートされる Dell モニターを検出できない

次のシナリオでは、Dell Display Manager がモニターと通信できない場合があります。

1. プライマリモニターが複数モニター同期 (MMS) をオンにしている。
2. モニターはカラーキャリブレーションでビジー状態。
3. そのモニターは、画面分割がオンになっています。
4. DDC/CI がオフになっている。

DDM が互換性のある Dell モニターを検出できない、または通信できない場合は、次の手順に従って問題を解決してください。

1. ビデオケーブルまたは USB アップストリームケーブルが、モニターとコンピューターに正しく接続されていることを確認します。すべてのコネクタがポートに正しく接続されていることを確認してください。
2. モニターの OSD で **DDC/CI** が有効になっていることを確認してください。

Network KVM に接続できません

Network KVM からリモートコンピューターに接続できない場合は、次の方法で問題を解決してみてください。

1. ファイアウォールの設定を確認して、すべての Dell Display Manager の項目が有効になっていることを確認してください。
2. すべてのアプリケーションが Windows Defender ファイアウォールを介して通信できるように選択されていることを確認してください。
3. ネットワーク管理者に連絡して、すべてのネットワークポート（デフォルトは 5566、5567、5568）が出入力両方の通信に対してオープンであることを確認してください。



Network KVM が別のクラスタに切り替える

正常に使用しているときに、**Network KVM** が突然別のクラスタに切り替えてしまう。これは、**Network KVM** が次のようなクラスタに接続されたモニターと関連づけられていることが原因です。

- ・ ユーザーがクラスタを作成した。
- ・ ユーザーがクラスタを選択した。

最適な状態で使用できるように、**Network KVM** は最も優先順位の高いクラスタと接続を再開しようとします。接続できなかった場合は、**Network KVM** は次に優先順位の高いクラスタと接続しようとします。このような場合は、使用したいクラスタを KVM メニューから手動で選択することができます。

システムにインストールされたアプリケーション同士の互換性

DDM は以前のバージョンと後方互換性があります。常に最新の DDM バージョンをお使いになることをお勧めします。

トラブルシューティングの詳細情報を入手するには

トラブルシューティングのために Dell サービスセンターに詳細な情報を提供するために、**診断レポートの保存**または**モニタ画面資産レポートを保存**を行うことができます。

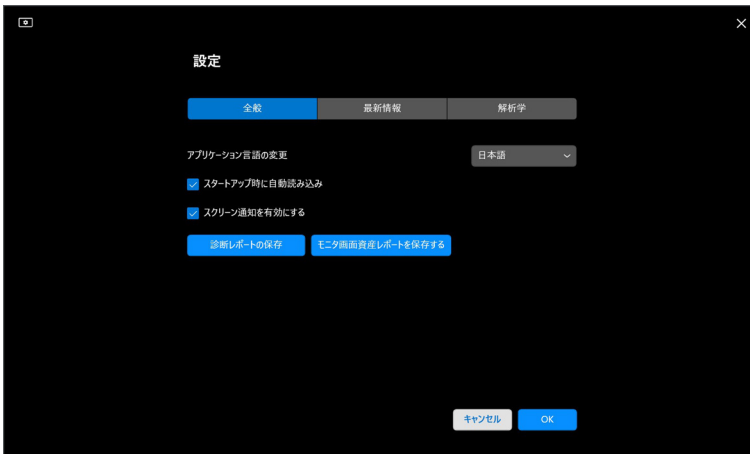
診断レポートの保存

DDM のアイコンを右クリックし、**診断レポートの保存**を選択するか、設定から**診断レポートの保存**ボタンをクリックします。このレポートには、システムおよびモニター関連の情報と、DDM のランタイムログが含まれています。



モニタ画面資産レポートを保存する

DDM のアイコンを右クリックし、**モニタ画面資産レポートを保存する**を選択するか、**設定**から**モニタ画面資産レポートを保存する**ボタンをクリックします。このレポートには、接続されているすべてのモニターの EDID（拡張ディスプレイ特定データ）情報が含まれています。



DDM の向上

Dell のサーバーに診断データと使用データを自動的に提供することに同意する場合は、**Dell の製品とサービスの向上を自動的に支援する**をチェックします。このデータは、Dell 製品およびサービスの改善に役立てられます。



DDM ソフトウェアとモニターのファームウェアの更新

インターネットに接続されている場合、DDM またはモニターのファームウェアの更新版が利用可能になると、新しいバージョンへのアップグレードを促すメッセージが表示されます。最新の DDM アプリケーションとモニターのファームウェアをダウンロードし、インストールすることをお勧めします。

DDM ソフトウェアまたはモニターのファームウェアをアップデートする場合は、設定の**最新情報**をクリックします。

また、設定から**更新プログラムを確認する**をクリックすることで、新しいバージョンを確認することができます。

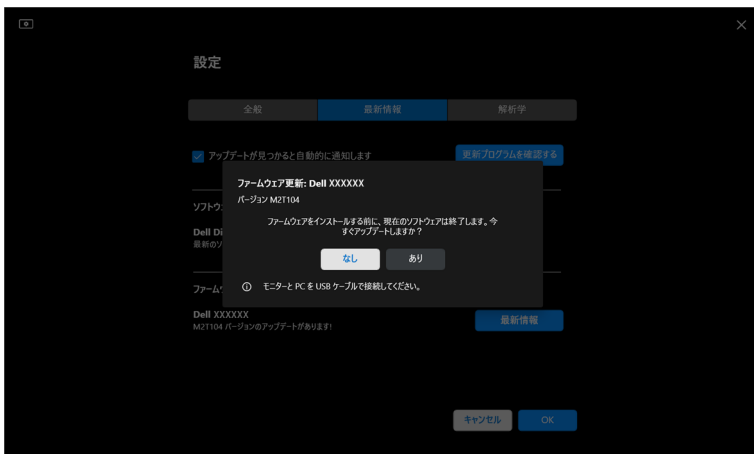


モニターのファームウェアの更新

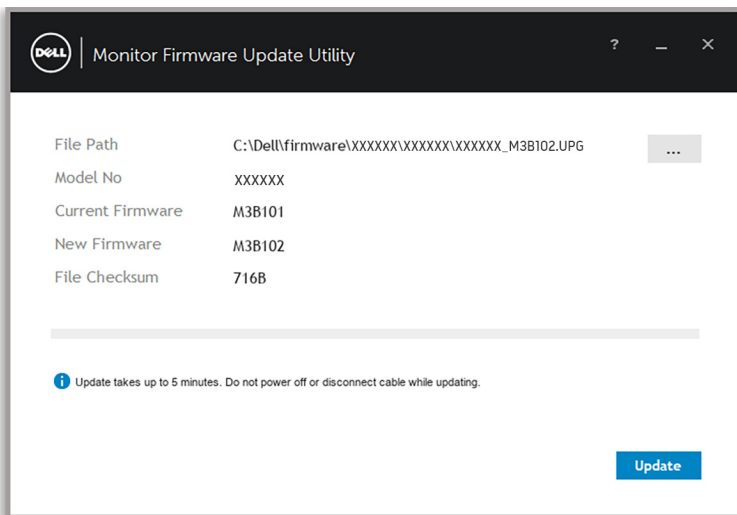
1. 設定で**最新情報**をクリックすると、モニターのファームウェアが更新されます。処理が開始されると、ダウンロード プログレスバーが表示されます。



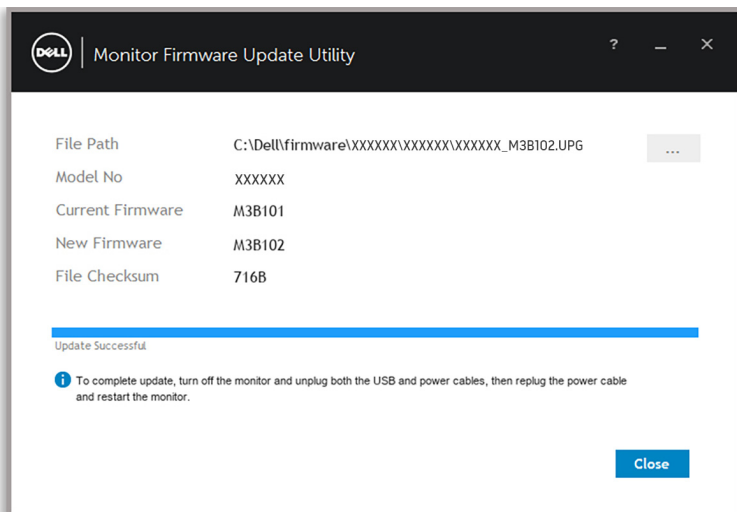
2. ダウンロードが完了すると、確認のためのダイアログ ボックスが表示されます。画面上の指示に従って、他のモニターをすべて取り外してからはいをクリックします。




3. DDM が一時的に使用できなくなり、**モニタファームウェア更新ユーティリティ**が起動して自動的に更新を開始します。




4. 更新が完了すると、**モニタファームウェア更新ユーティリティ**は自動的に終了します。



 **注**：モニタファームウェア更新ユーティリティが同一モデルのすべてのモニターを順番に更新していきます。



 注：モニターファームウェアの更新が完了すると、DDM が自動的に起動します。

